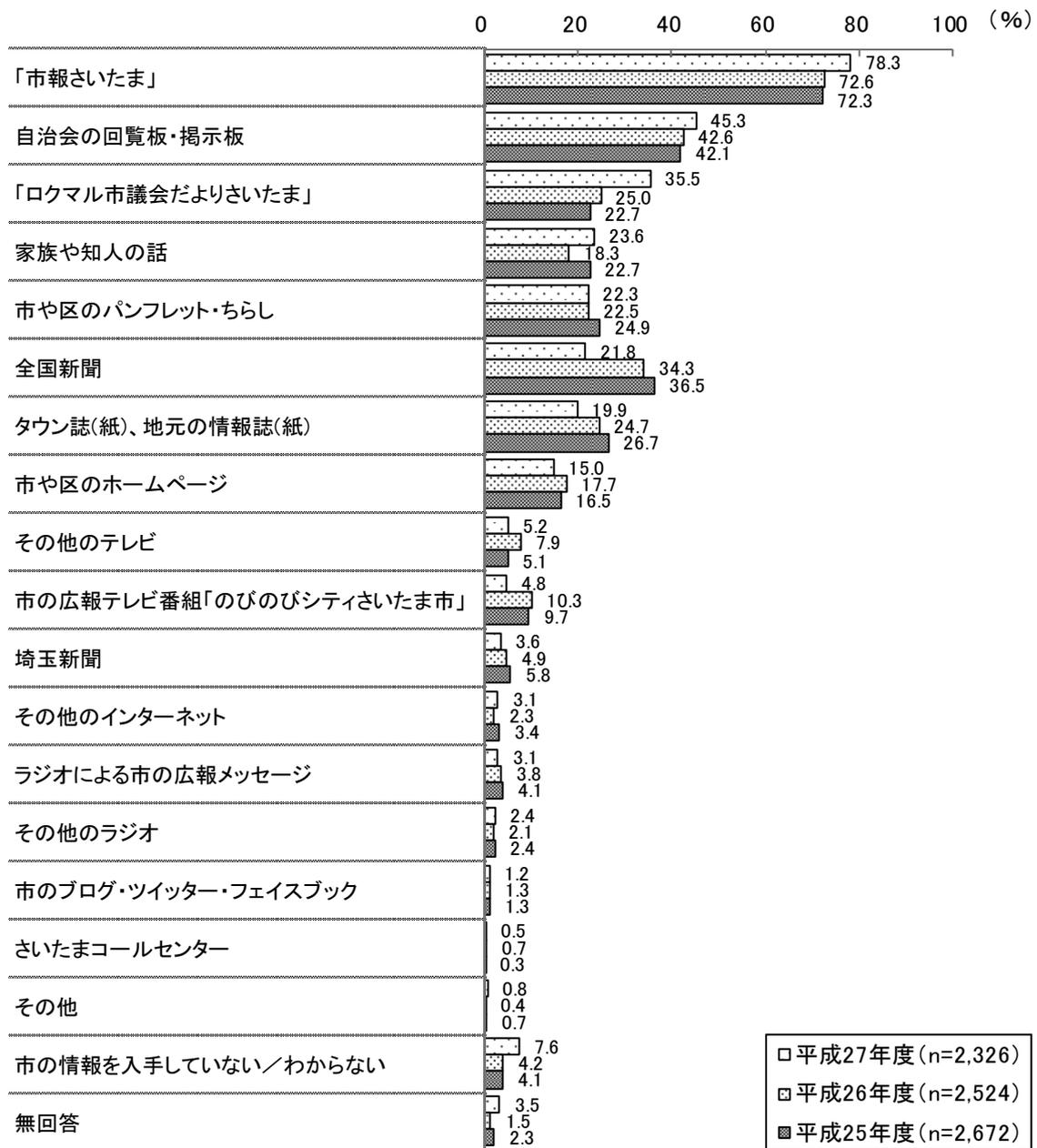


#### 4. 市政との関わり

##### (1) 市が発信する情報の入手方法

問9 あなたは、さいたま市役所が発信する情報をどのような方法で入手していますか。  
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

図4-1-1 市が発信する情報の入手方法



(注記) 平成26年度までは、「あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。」と質問した。

平成27年度から、項目の表現を一部変更し、「自治会や町内会の回覧板・掲示板」を「自治会の回覧板・掲示板」とした。

## 全体結果

「市報さいたま」(78.3%)が約8割で突出しており、次いで「自治会の回覧板・掲示板」(45.3%)、「ロクマル市議会だよりさいたま」(35.5%)と続いている。

過去2年間の調査結果と比較すると、先に挙げた上位3項目が増加傾向にあり、「全国新聞」「タウン誌(紙)、地元の情報誌(紙)」は減少傾向となっている。(図4-1-1)

## 属性別

上位10項目について、性・年代別で見ると、多くの項目で女性の方が男性よりも多くなっている。

また、「家族や知人の話」を除く上位6項目は、男女とも年代が上がるにつれ多くなる傾向にあり、特に「市報さいたま」は、30代で急増している。

居住区別で見ると、「市報さいたま」は、すべての区で最も多くなっている。

また、「自治会の回覧板・掲示板」は、岩槻区(56.8%)、緑区(56.4%)が5割を超えて多くなっている。(表4-1-1)

表4-1-1 市が発信する情報の入手方法—性・年代別、居住区別（上位10項目）

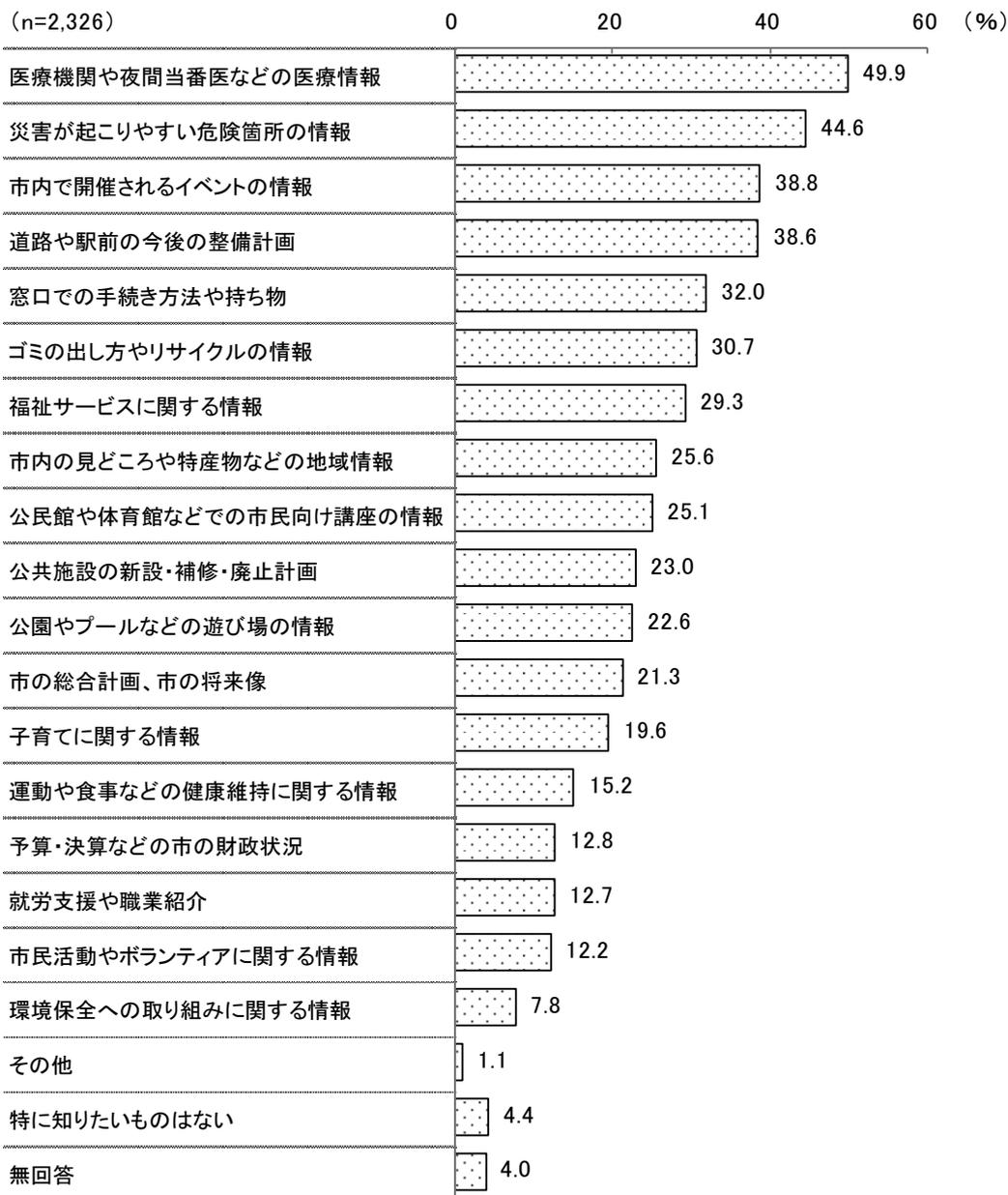
		(%)									
	n	「市報 さいたま」	自治会の 回覧板・ 掲示板	「ロク マル市 議会だ よりさい たま」	家族や 知人の 話	市や区 のパン フレット ・ちら し	全国 新聞	誌 (紙) タウン 誌(紙) 、地元 の情報	市や区 のホーム ページ	その 他の テレビ	市の 広報 テレビ 番組「 さい たまの びの び」
全体	2,326	78.3	45.3	35.5	23.6	22.3	21.8	19.9	15.0	5.2	4.8
＜性・年代別＞											
男性	1,000	71.7	41.3	28.1	19.2	21.3	23.5	14.1	17.6	6.3	4.6
男性 20代	92	29.3	12.0	13.0	21.7	13.0	8.7	6.5	15.2	5.4	1.1
男性 30代	149	62.4	25.5	15.4	20.8	13.4	6.0	16.1	18.1	4.0	2.0
男性 40代	195	72.3	33.3	20.5	17.9	13.3	16.9	13.3	24.1	2.6	3.6
男性 50代	172	73.8	34.9	26.7	16.9	22.1	22.1	15.1	20.3	7.0	3.5
男性 60代	219	81.3	52.5	35.6	17.4	22.8	30.1	11.0	16.0	7.3	6.4
男性 70歳以上	173	87.3	71.7	47.4	22.5	38.7	46.8	20.2	10.4	11.0	8.7
女性	1,291	84.0	48.6	41.9	27.4	23.5	20.6	24.7	13.1	4.3	5.1
女性 20代	108	50.0	12.0	15.7	26.9	11.1	6.5	13.9	13.9	1.9	0.0
女性 30代	235	78.7	31.5	30.6	26.0	18.7	4.7	23.8	17.9	3.0	2.1
女性 40代	266	86.5	40.6	37.6	27.1	14.7	15.0	28.2	16.5	2.6	1.9
女性 50代	229	89.5	47.6	41.9	24.0	21.8	22.7	26.2	11.4	3.1	3.1
女性 60代	236	92.4	67.4	53.0	25.4	33.5	31.4	24.6	12.3	4.7	8.9
女性 70歳以上	215	89.3	75.8	60.5	35.8	37.2	37.7	25.1	6.0	10.2	12.6
＜居住区別＞											
西区	139	80.6	49.6	34.5	25.9	21.6	24.5	20.1	10.1	4.3	5.0
北区	259	81.5	38.6	37.5	25.9	23.6	20.5	18.5	13.9	5.8	4.6
大宮区	223	81.6	41.3	42.2	22.0	18.4	22.0	26.0	15.2	4.5	5.8
見沼区	291	75.6	48.8	33.7	24.1	19.6	22.7	21.0	13.7	7.6	5.5
中央区	190	76.8	42.1	30.5	18.9	23.2	21.1	20.5	13.2	3.7	4.7
桜区	160	72.5	41.9	38.1	26.9	25.6	21.9	12.5	17.5	5.0	5.0
浦和区	315	79.7	44.4	35.9	21.3	21.3	25.1	23.8	17.8	4.8	4.1
南区	328	79.3	40.5	35.1	21.3	24.1	19.5	23.2	17.1	5.5	3.0
緑区	195	82.6	56.4	31.8	25.6	21.5	21.5	12.8	17.4	4.6	5.1
岩槻区	190	75.3	56.8	39.5	30.5	28.4	20.5	16.3	12.1	5.3	7.4

(2) 市が発信する情報で特に知りたいもの

問 10 市役所からの情報で、あなたが特に知りたいのはどのような情報ですか。

(○はいくつでも)

図 4-2-1 市が発信する情報で特に知りたいもの



全体結果

「医療機関や夜間当番医などの医療情報」(49.9%)が最も多く、次いで「災害が起こりやすい危険箇所の情報」(44.6%)と、防災・医療のいざという時に役立つ情報へのニーズが多くなっている。

(図 4-2-1)

## 属性別

上位 10 項目について、性・年代別でみると、8 項目が女性の方が男性よりも多くなっており、そのうち「医療機関や夜間当番医などの医療情報」「福祉サービスに関する情報」「公民館や体育館などでの市民向け講座の情報」は、男女で 10 ポイント前後の差が開いている。一方、「道路や駅前の今後の整備計画」は、男性（43.8%）の方が女性（35.0%）の方よりも多くなっており、特に男性 30 代（51.7%）で半数に達している。

また、「福祉サービスに関する情報」は、年代が上がるにつれニーズが多くなっているが、その他の項目では、男女とも 30 代でニーズが多くなる傾向にある。

居住区別でみると、各区の傾向に大きな違いはみられない。（表 4-2-1）

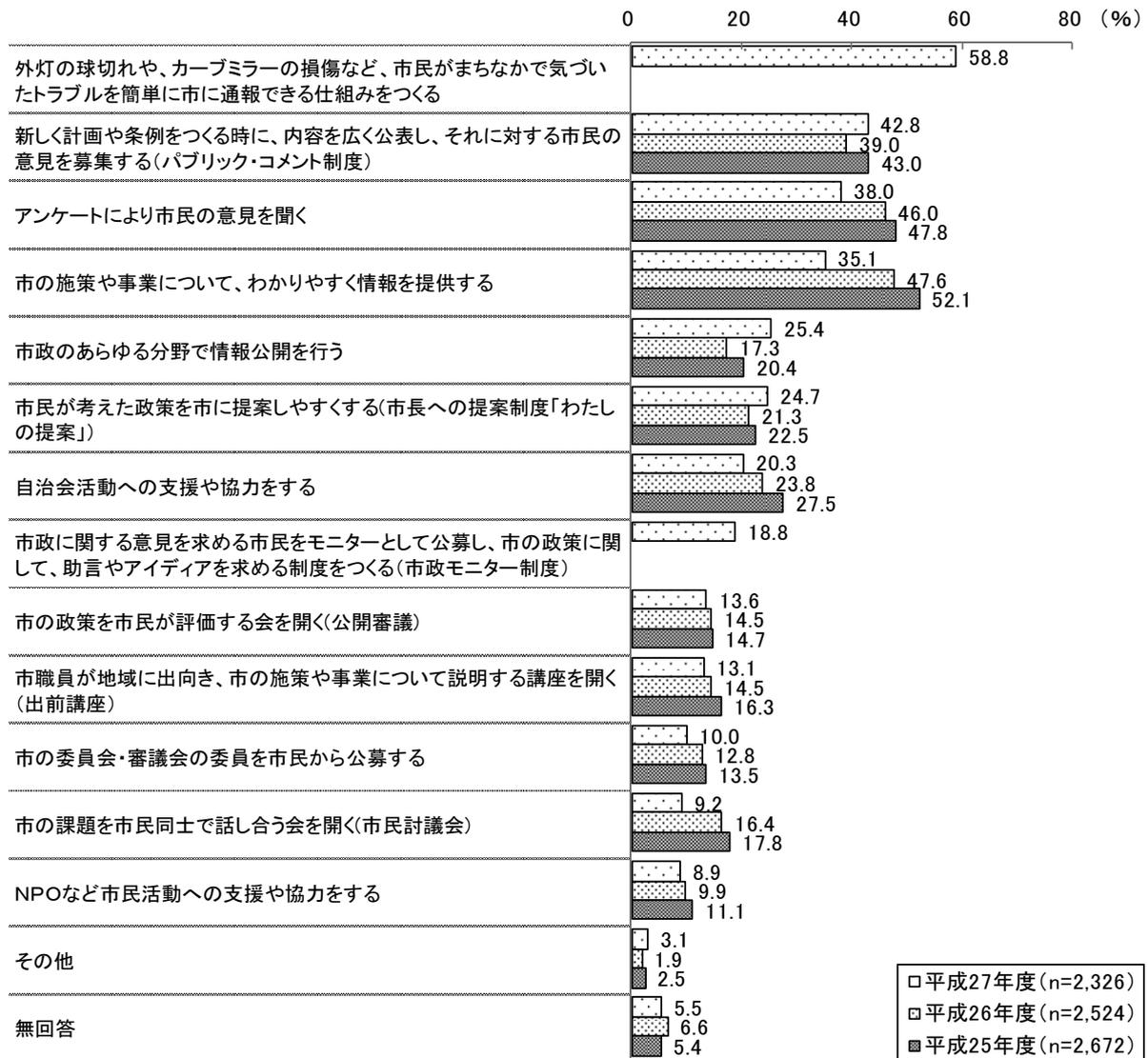
表 4-2-1 市が発信する情報で特に知りたいもの—性・年代別、居住区別（上位 10 項目）

		(%)										
	n	な医療機関や夜間当番医などの医療情報	陰箇所が起りやすい危険	市内で開催されるイベントの情報	備道路や駅前の今後の整備計画	持ち口での手続き方法や窓物	クゴルの出し方やリサイクルの情報	情報サービスに関する福祉サービス	物市内の見どころや特産などの地域情報	の市民館や体育館などの講座の情報	修・共廃止計画の新設・補	
全体	2,326	49.9	44.6	38.8	38.6	32.0	30.7	29.3	25.6	25.1	23.0	
<性・年代別>												
男性	1,000	45.9	41.6	36.4	43.8	30.5	27.6	24.4	23.8	18.7	24.7	
男性 20 代	92	28.3	34.8	31.5	39.1	34.8	20.7	8.7	20.7	9.8	22.8	
男性 30 代	149	55.0	40.9	46.3	51.7	37.6	30.9	14.8	27.5	20.8	30.2	
男性 40 代	195	43.6	40.5	37.9	43.1	33.8	33.3	19.5	19.0	13.3	27.2	
男性 50 代	172	51.2	45.9	33.1	43.0	31.4	32.0	28.5	24.4	16.3	20.9	
男性 60 代	219	46.6	42.5	31.1	39.3	25.1	20.5	27.4	22.8	21.9	20.5	
男性 70 歳以上	173	43.9	41.6	38.7	46.8	24.3	26.6	38.7	28.3	26.0	27.2	
女性	1,291	53.5	47.6	41.0	35.0	33.6	33.7	33.6	27.2	30.1	22.2	
女性 20 代	108	44.4	30.6	41.7	31.5	39.8	31.5	12.0	16.7	17.6	14.8	
女性 30 代	235	56.6	46.8	46.8	36.6	43.0	35.3	19.6	27.2	31.5	23.0	
女性 40 代	266	50.4	49.6	40.6	33.5	31.2	35.7	28.9	21.8	29.7	18.0	
女性 50 代	229	57.6	46.7	38.9	33.6	35.4	35.4	41.0	24.9	29.7	24.0	
女性 60 代	236	50.0	52.5	40.3	36.0	28.4	32.2	45.3	34.3	36.9	25.8	
女性 70 歳以上	215	58.6	50.7	38.1	37.2	27.4	30.7	44.7	34.0	28.8	24.2	
<居住区別>												
西区	139	39.6	41.7	35.3	37.4	28.1	28.8	30.9	20.1	26.6	16.5	
北区	259	56.4	39.8	39.0	34.4	32.0	27.8	28.2	26.6	25.5	23.2	
大宮区	223	48.0	43.5	43.9	42.6	33.2	27.8	28.3	27.8	25.6	29.6	
見沼区	291	45.4	42.6	37.1	43.3	26.8	27.8	30.6	27.5	22.3	24.1	
中央区	190	53.7	47.9	36.8	37.4	34.2	33.7	29.5	24.7	24.2	29.5	
桜区	160	49.4	46.9	33.1	37.5	36.3	28.1	29.4	23.1	20.0	21.9	
浦和区	315	50.5	44.4	43.2	33.7	35.6	34.9	28.3	25.1	26.3	20.3	
南区	328	56.1	52.1	44.2	37.5	32.3	31.1	30.2	30.2	27.4	19.2	
緑区	195	49.2	45.1	35.9	43.6	35.9	32.8	29.7	25.6	27.7	22.1	
岩槻区	190	46.8	43.2	33.2	43.2	27.9	36.8	31.6	19.5	23.2	27.4	

(3) 市政への参加のために力を入れること

問 11 さいたま市役所では、さまざまな方法で市民のみなさんが市政に参加してくれることを期待しています。市民のみなさんが市政に参加しやすくするためには、市役所は、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

図 4-3-1 市政への参加のために力を入れること



(注記)平成 26 年度までは、「さいたま市ではさまざまな方法で市民の皆さんの市政への参加を求めています。市民の皆さんが活発に市政へ参加できるようにするためには、市は、どのようなことに力を入れていけば良いと思いますか。」と質問した。  
平成 27 年度から、「外灯の球切れや、カーブミラーの損傷など、市民がまちなかで気づいたトラブルを簡単に市に通報できる仕組みをつくる」「市政に関する意見を求める市民をモニターとして公募し、市の政策に関して、助言やアイデアを求める制度をつくる(市政モニター制度)」を追加した。  
また、平成 27 年度から、各項目の表現をより分かりやすく変更した。

## 全体結果

「外灯の球切れや、カーブミラーの損傷など、市民がまちなかで気づいたトラブルを簡単に市に通報できる仕組みをつくる」(58.8%)が約6割で最も多くなっている。

過去2年間の調査結果と比較すると、「アンケートにより市民の意見を聞く」「市の施策や事業について、分かりやすく情報を提供する」「自治会活動への支援や協力をする」は減少傾向にある。

(図4-3-1)

## 属性別

上位10項目について、性・年代別で見ると、上位3項目に大きな違いはみられないが、「市の施策や事業について、わかりやすく情報を提供する」「自治会活動への支援や協力をする」は、男女とも年代が上がるにつれ多くなっている。

居住区別で見ると、「外灯の球切れや、カーブミラーの損傷など、市民がまちなかで気づいたトラブルを簡単に市に通報できる仕組みをつくる」は、すべての区で5割を超えて多くなっている。「新しく計画や条例をつくる時に、内容を広く公表し、それに対する市民の意見を募集する(パブリック・コメント制度)」は、大宮区(50.2%)で約半数を占める一方、西区(32.4%)では最も少なくなっている。(表4-3-1)

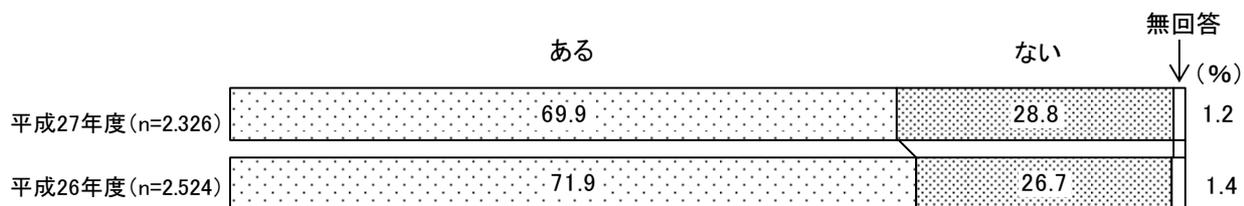
表4-3-1 市政への参加のために力を入れること  
—性・年代別、居住区別（上位10項目）

		(%)												
	n	通報できる仕組みをつくる	外灯の球切れや、カーブミラーの損傷などに市	民がまちなかで気づいたトラブルを簡単に市に	表し、それに対する市民の意見を募集する（パブリック・コメント制度）	新しく計画や条例をつくる時に、内容を広く公表	アンケートにより市民の意見を聞く	市の施策や事業について、わかりやすく情報を提供する	市政のあらゆる分野で情報公開を行う	市民が考えた政策を市に提案しやすくする（市長への提案制度「わたしの提案」）	自治会活動への支援や協力をする	市政に関する意見を求める市民モニターとして公募し、市の政策に関して、助言やアイデアを求める制度をつくる（市政モニター制度）	市の政策を市民が評価する会を開く（公開審議）	市職員が地域に出向き、市の施策や事業について説明する講座を開く（出前講座）
全体	2,326	58.8	42.8	38.0	35.1	25.4	24.7	20.3	18.8	13.6	13.1			
<性・年代別>														
男性	1,000	56.4	44.7	34.5	37.2	25.1	21.7	18.4	18.2	15.9	14.0			
男性 20代	92	56.5	38.0	39.1	29.3	27.2	21.7	9.8	6.5	8.7	6.5			
男性 30代	149	60.4	49.7	38.3	34.2	22.1	20.1	11.4	21.5	18.8	14.1			
男性 40代	195	56.4	48.2	32.8	34.9	21.5	20.5	12.3	16.4	14.4	10.8			
男性 50代	172	62.2	45.3	32.0	34.3	26.7	14.0	22.1	21.5	18.0	11.6			
男性 60代	219	55.7	37.0	30.1	40.2	26.9	24.2	17.8	17.8	16.4	14.6			
男性 70歳以上	173	48.0	49.1	38.7	45.7	26.6	28.9	32.9	20.8	16.2	23.1			
女性	1,291	61.0	41.7	40.7	33.8	25.9	27.3	22.0	19.4	11.9	12.7			
女性 20代	108	58.3	38.0	35.2	33.3	28.7	27.8	10.2	13.9	7.4	6.5			
女性 30代	235	64.7	43.4	43.8	27.7	22.1	28.5	13.6	14.9	11.5	7.2			
女性 40代	266	61.7	44.7	42.9	29.7	23.7	26.3	15.4	19.5	10.5	7.9			
女性 50代	229	58.5	47.6	41.5	33.6	34.1	27.5	21.8	23.6	17.9	12.2			
女性 60代	236	64.4	39.8	39.4	39.0	27.5	31.4	27.1	21.6	9.7	17.4			
女性 70歳以上	215	57.2	34.0	38.6	40.9	20.9	22.3	39.5	20.5	12.6	22.8			
<居住区別>														
西区	139	56.1	32.4	35.3	42.4	24.5	20.9	27.3	22.3	18.7	15.1			
北区	259	59.8	45.6	37.8	32.8	21.2	24.3	18.1	18.5	12.4	10.8			
大宮区	223	57.8	50.2	33.6	35.0	28.3	26.5	16.6	21.5	15.7	8.5			
見沼区	291	61.9	39.2	35.1	33.7	23.7	18.9	23.0	18.2	11.0	16.5			
中央区	190	58.9	40.5	42.1	33.2	30.5	22.6	18.4	21.6	19.5	12.6			
桜区	160	63.8	38.8	36.3	35.6	20.0	23.1	15.6	19.4	13.1	10.6			
浦和区	315	60.0	47.0	43.8	35.9	23.8	27.0	20.0	17.1	14.9	12.1			
南区	328	55.2	43.6	41.2	35.7	27.7	27.4	21.0	19.2	11.3	13.4			
緑区	195	59.0	45.1	32.3	36.4	28.2	27.2	24.6	13.8	12.3	14.9			
岩槻区	190	57.9	41.1	38.4	35.3	27.4	28.4	20.0	18.9	11.1	18.4			

(4) 市役所の利用実態

問 12 あなたは、この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話で問合せをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

図4-4-1 市役所の利用実態



全体結果

この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話問い合わせを利用したりしたことが「ある」人は69.9%と、全体の約7割を占めている。

昨年の調査結果と比較すると、利用したことが「ある」人の割合は、ほぼ同じ傾向となっている。

(図4-4-1)

## 属性別

性・年代別で見ると、利用したことが「ある」人は、女性はすべての年代で約7割を占める一方、男性は年代が上がるにつれ多くなる傾向にあり、70歳以上（80.9%）で8割に達している。

居住区別で見ると、利用したことが「ある」人は、中央区（62.1%）でやや少なくなっているものの、その他の区では約7割を占めている。（図4-4-2）

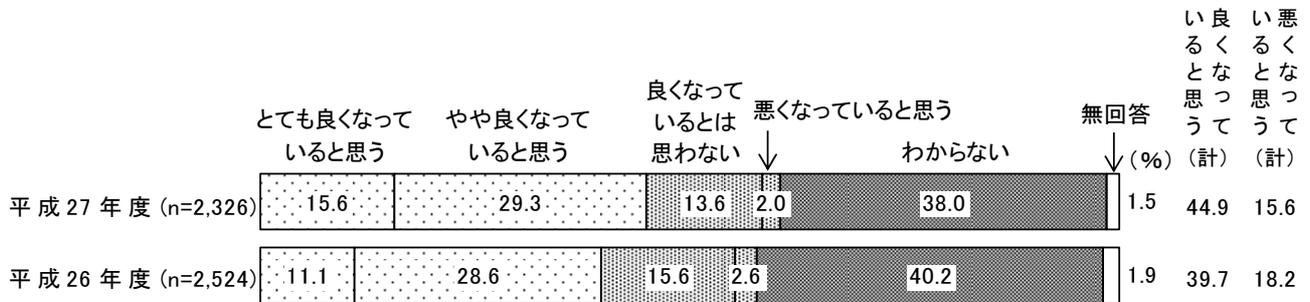
図4-4-2 市役所の利用実態－性・年代別、居住区別

	ある	ない	無回答 ↓ (%)
全 体 (n=2,326)	69.9	28.8	1.2
<性・年代別>			
男 性 (n=1,000)	67.6	30.9	1.5
男 性 20 代 (n= 92)	48.9	50.0	1.1
男 性 30 代 (n= 149)	67.8	32.2	0.0
男 性 40 代 (n= 195)	58.5	38.5	3.1
男 性 50 代 (n= 172)	62.8	35.5	1.7
男 性 60 代 (n= 219)	76.7	22.4	0.9
男性70歳以上 (n= 173)	80.9	17.3	1.7
女 性 (n=1,291)	71.9	27.4	0.7
女 性 20 代 (n= 108)	68.5	31.5	0.0
女 性 30 代 (n= 235)	75.3	24.7	0.0
女 性 40 代 (n= 266)	68.0	31.2	0.8
女 性 50 代 (n= 229)	76.4	22.3	1.3
女 性 60 代 (n= 236)	72.9	26.3	0.8
女性70歳以上 (n= 215)	68.8	30.2	0.9
<居住区別>			
西 区 (n= 139)	71.2	28.8	0.0
北 区 (n= 259)	68.7	30.1	1.2
大 宮 区 (n= 223)	70.0	27.8	2.2
見 沼 区 (n= 291)	71.8	27.8	0.3
中 央 区 (n= 190)	62.1	36.3	1.6
桜 区 (n= 160)	69.4	30.6	0.0
浦 和 区 (n= 315)	68.6	30.5	1.0
南 区 (n= 328)	72.3	26.8	0.9
緑 区 (n= 195)	72.3	26.7	1.0
岩 槻 区 (n= 190)	72.6	25.3	2.1

(5) 市職員のイメージ

問 13 あなたは、最近の市職員のイメージをどう思いますか。(○は1つ)

図 4-5-1 市職員のイメージ



(注記) 『良くなっていると思う (計)』は、「とても良くなっていると思う」「やや良くなっていると思う」の合計  
『悪くなっていると思う (計)』は、「良くなっているとは思わない」「悪くなっていると思う」の合計

全体結果

「とても良くなっていると思う」(15.6%)、「やや良くなっていると思う」(29.3%)を合わせた『良くなっていると思う (計)』(44.9%)が4割強と、「良くなっているとは思わない」(13.6%)、「悪くなっていると思う」(2.0%)を合わせた『悪くなっていると思う (計)』(15.6%)を大きく上回っている。一方、「わからない」(38.0%)は、全体の約4割を占めている。

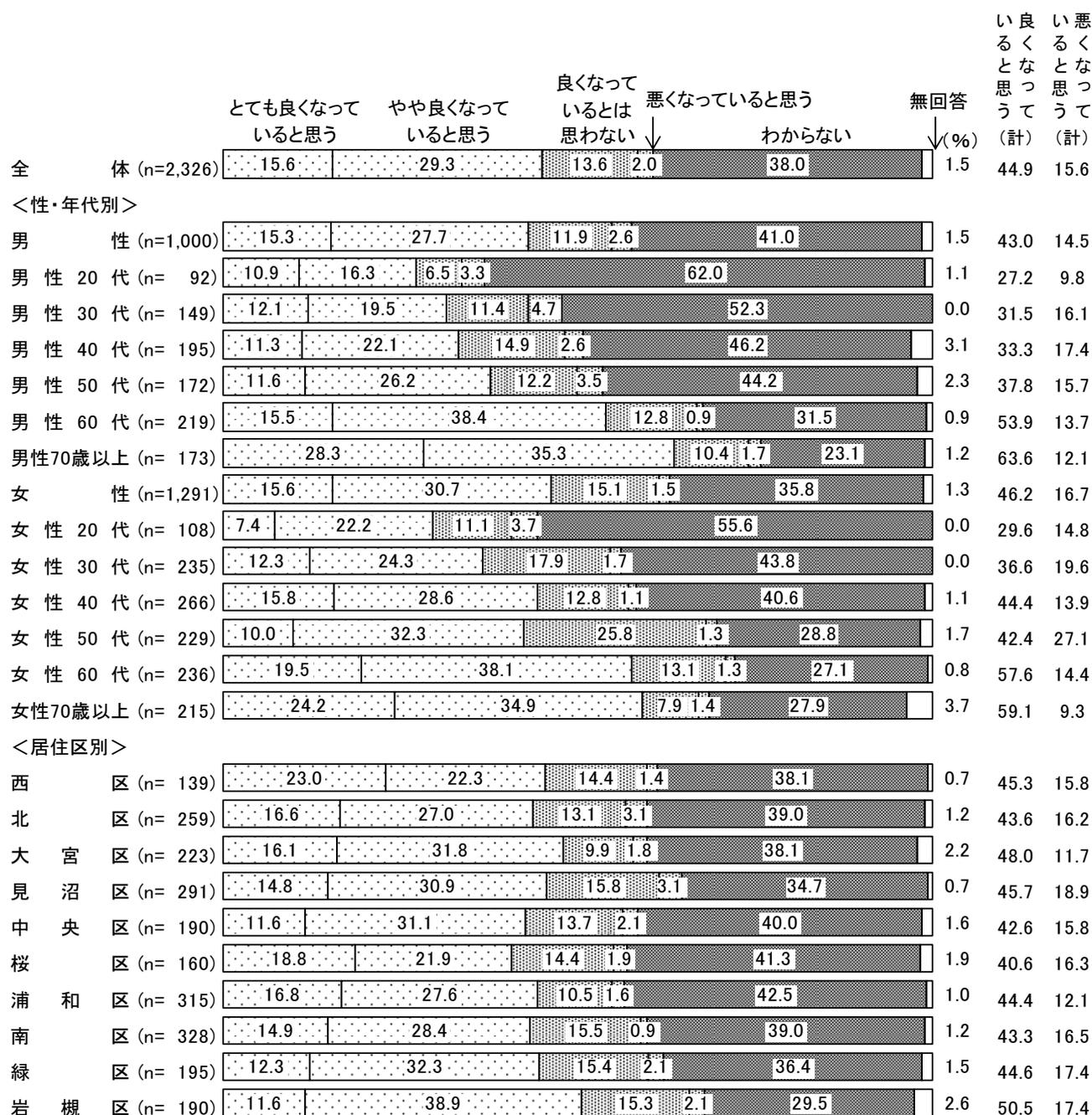
昨年の調査結果と比較すると、『悪くなっていると思う (計)』が減少し、『良くなっていると思う (計)』が増加していることから、市職員のイメージは向上している。(図 4-5-1)

## 属性別

性・年代別で見ると、『良くなっていると思う（計）』は、男女とも年代が上がるにつれ多くなっており、70歳以上で約6割を占めている。

居住区別で見ると、『良くなっていると思う（計）』は、岩槻区（50.5%）と大宮区（48.0%）で約5割と、その他の区よりもやや多くなっている。（図4-5-2）

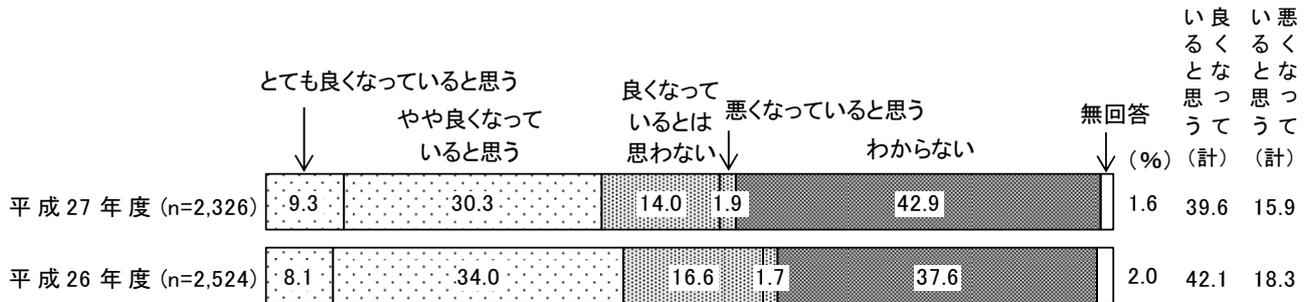
図4-5-2 市職員のイメージ—性・年代別、居住区別



(6) 市民サービスの評価

問 14 あなたは、最近の市民サービスをどう思いますか。(○は1つ)

図 4-6-1 市民サービスの評価



(注記) 『良くなっていると思う (計)』は、「とても良くなっていると思う」「やや良くなっていると思う」の合計  
『悪くなっていると思う (計)』は、「良くなっているとは思わない」「悪くなっていると思う」の合計

全体結果

「とても良くなっていると思う」(9.3%)と「やや良くなっていると思う」(30.3%)を合わせた『良くなっていると思う (計)』(39.6%)が約4割と、「良くなっているとは思わない」(14.0%)と「悪くなっていると思う」(1.9%)を合わせた『悪くなっていると思う (計)』(15.9%)を大きく上回っている。一方、「わからない」(42.9%)は、市職員のイメージと同様、約4割を占めている。

昨年との調査結果と比較すると、『良くなっていると思う (計)』『悪くなっていると思う (計)』がともに減少し、「わからない」がやや増加している。(図 4-6-1)

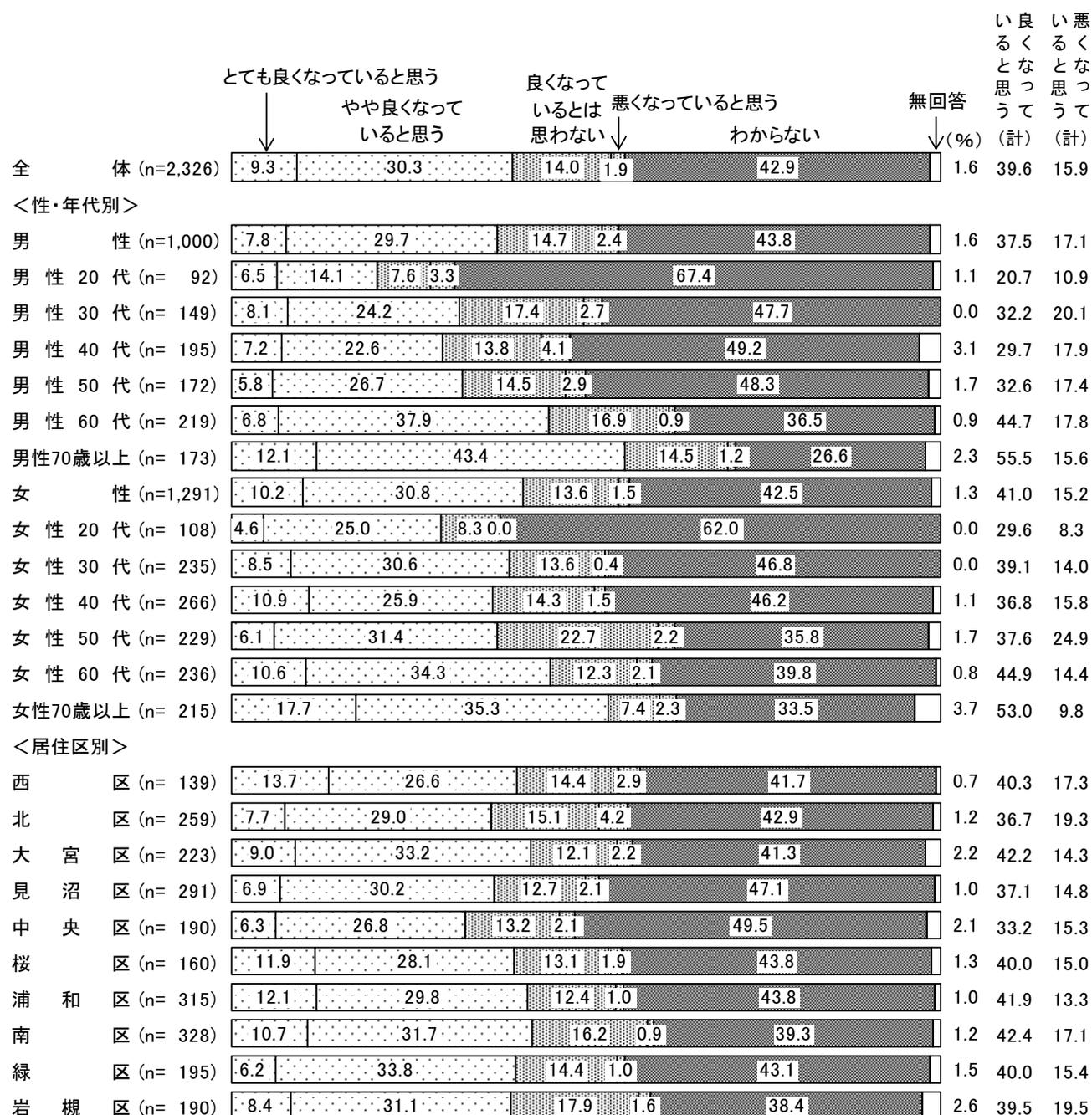
## 属性別

性・年代別でみると、『良くなっていると思う（計）』は、男女とも年代が上がるにつれ多くなる傾向にあり、70歳以上で5割を超えている。

また、『悪くなっていると思う（計）』は、女性50代（24.9%）と男性30代（20.1%）で約2割と、やや多くなっている。

居住区別でみると、『良くなっていると思う（計）』に、大きな違いはみられない。（図4-6-2）

図4-6-2 市民サービスの評価—性・年代別、居住区別



(7) 市役所の利用実態別「市職員のイメージ」及び「市民サービスの評価」

図4-7-1 市職員のイメージ（市役所の利用実態別）

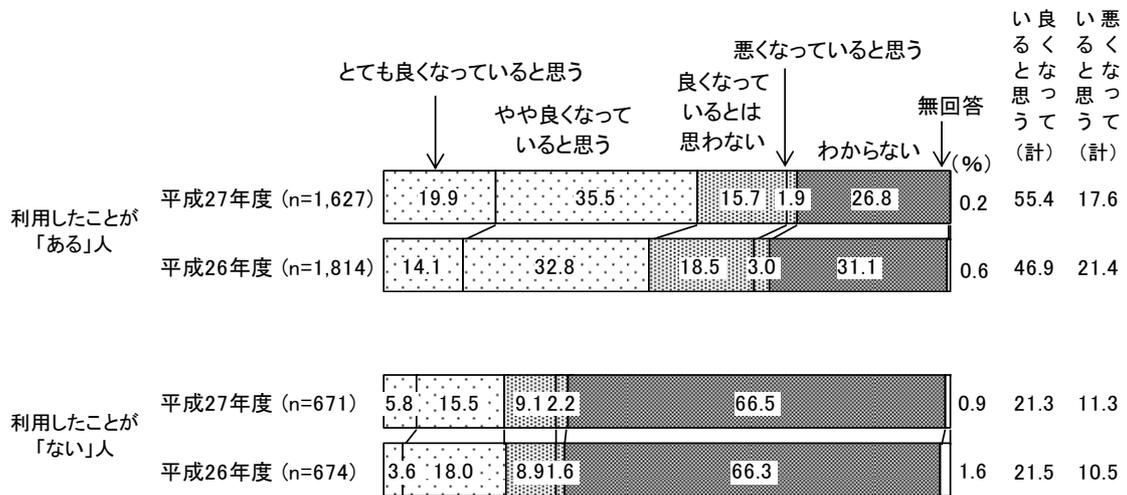
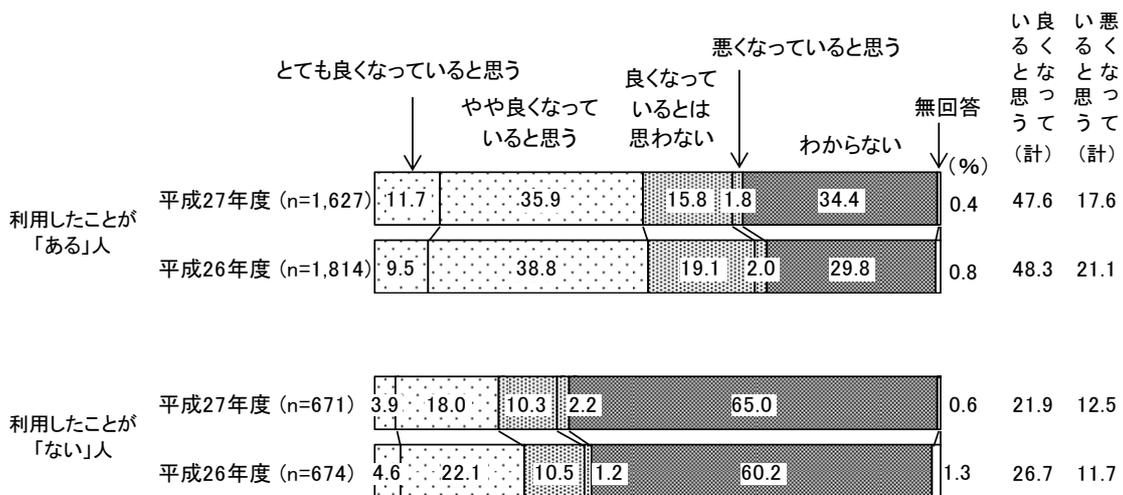


図4-7-2 市民サービスの評価（市役所の利用実態別）



(注記) 『良くなっていると思う (計)』は、「とても良くなっていると思う」「やや良くなっていると思う」の合計  
 『悪くなっていると思う (計)』は、「良くなっているとは思わない」「悪くなっていると思う」の合計

(図4-7-1~2)

全体結果

この1年以内で市・区役所を利用したり、電話問い合わせを利用したりしたことが「ある」人は、両項目とも半数程度が『良くなっていると思う (計)』と評価している。一方、利用したことが「ない」人は、両項目とも「わからない」が6割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、市職員のイメージは、利用したことが「ある」人で大幅に向上している。(図4-7-1~2)

## 5. 市政

### (1) 図、表中の項目表示簡略化対照表

図、表中の項目表示簡略化対照表を示す。(表5-1-1)

表5-1-1 図、表中の項目表示簡略化対照表

	調査票内表示	報告書内表示
環境	1 地球温暖化対策の推進(省エネルギー化、再生可能エネルギー導入など)	温暖化対策
	2 騒音、振動や大気汚染の防止など良好な生活環境の確保	生活環境
	3 ゴミの適正な処理/リサイクルの推進	ごみ・リサイクル
	4 緑、河川などの自然環境の保全と再生	自然環境
	5 都市景観の保全/まちの美化	景観・美化
健康・福祉	6 子育て支援の充実	子育て支援
	7 高齢者福祉の充実	高齢者福祉
	8 障害者福祉の充実	障害者福祉
	9 健康づくりと地域医療機関の充実	地域医療
	10 公共施設や交通関連施設のバリアフリー化	バリアフリー
	11 食品・生活環境の監視(検査)体制の充実	食品・生活
教育・文化・スポーツ	12 学校教育の充実	学校教育
	13 青少年の健全育成	青少年
	14 生涯学習の振興/学習環境の充実	生涯学習
	15 スポーツ・レクリエーションの振興/活動環境の充実	スポーツ
	16 地域文化の保全/文化芸術活動の振興/活動環境の充実	地域文化
都市基盤・交通	17 市街地における公園の整備/緑化の推進	公園
	18 ICT(情報通信技術)活用支援/行政サービスの電子化推進	ICT
	19 駅周辺などの中心市街地整備	市街地整備
	20 道路の整備/鉄道・バス輸送サービスの充実	道路・輸送
産業・経済	21 中小企業の支援/商店街の活性化/農業の振興	中小企業
	22 新たな産業の創造/企業立地・集積の促進	新たな産業
	23 観光の振興/シティセールスの推進	シティセールス
	24 産業人材の育成/就労支援の充実/就労環境の整備	起業・創業
安全・生活基盤	25 防災・治水対策、消防体制の充実	防災
	26 交通事故防止、防犯対策	事故・防犯
	27 飲料水の安全供給/下水道の整備/住宅の整備	上下水道
交流・コミュニティ	28 人権を尊重する都市づくり/男女共同参画の推進	男女共同参画
	29 市民活動やコミュニティ活動の推進	コミュニティ
	30 国際化・国際交流の推進/恒久平和への貢献	国際交流

(注記) 「1.温暖化対策」「23.シティセールス」「28.男女共同参画」「30.国際交流」については、平成26年度より項目内容の変更(新設)を行っている。

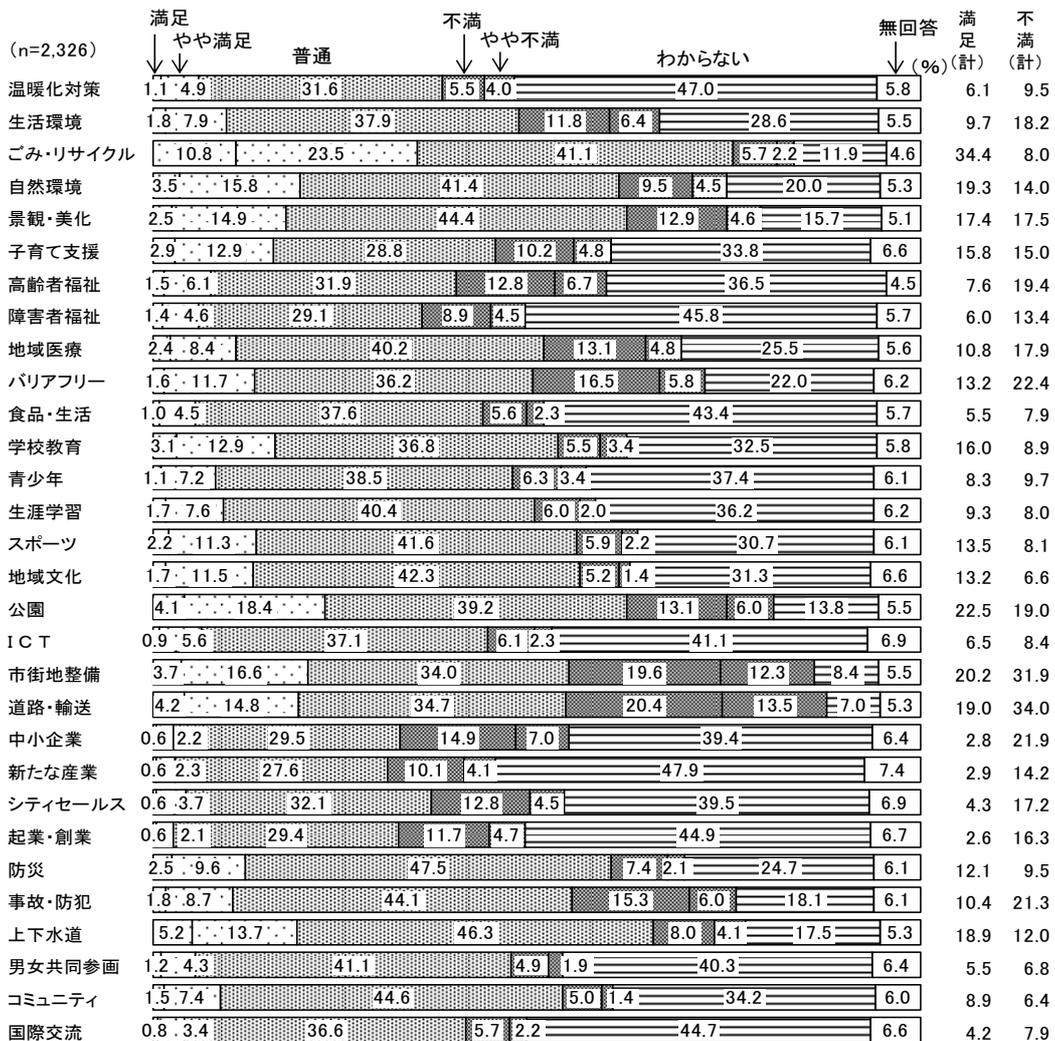
(2) 施策や事業の満足度

問 15 「さいたま市」が行っている施策や事業の満足度や重視度について質問します。

(1) あなたは、以下の1~30の施策や事業について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

図 5-2-1 施策や事業の満足度



(注記1) 『満足(計)』は、「満足」「やや満足」の合計

『不満(計)』は、「やや不満」「不満」の合計

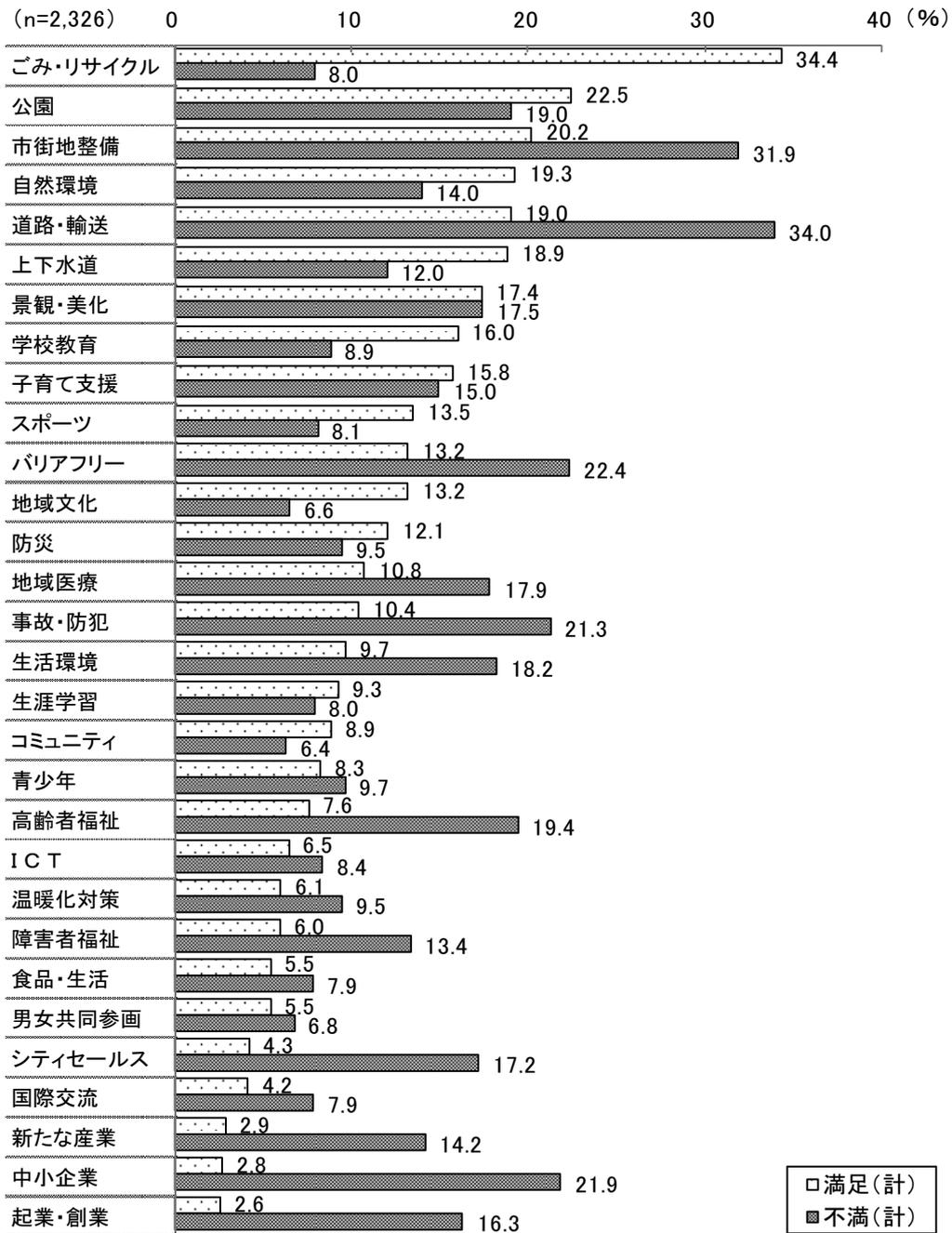
(注記2) 平成26年度までは、「以下の1~30の施策について、あなたは、現在どれくらい満足していますか。」と質問した。

全体結果

各施策や事業の現状の満足度を聞いたところ、『満足(計)』は、「ごみ、リサイクル」(34.4%)が目立って多く、次いで「公園」(22.5%)、市街地整備(20.2%)が続いている。一方、『不満(計)』は、「道路・輸送」(34.0%)、「市街地整備」(31.9%)が約3割と多くなっている。(図5-2-1)

(3) 施策や事業の満足度の『満足(計)』と『不満(計)』比較

図5-3-1 施策や事業の満足度の『満足(計)』と『不満(計)』比較



全体結果

『満足(計)』が『不満(計)』より多い項目は、「ごみ・リサイクル」など11項目。一方、『不満(計)』が多いのは、19項目あり、特にその差が大きいのは、「中小企業」(19.1ポイント差)、「道路・輸送」(15.0ポイント差)となっている。(図5-3-1)

## 属性別

『不満（計）』の上位6項目について、性・年代別でみると、男女とも順位は異なるものの、すべての年代で「道路・輸送」「市街地整備」が挙げられている。

「バリアフリー」は、男性は70歳以上（22.5%）で、女性はすべての年代で上位6項目に入っており、「シティセールス」は男性20～50代で、「子育て支援」は女性30～40代でのみ上位6項目に入っている。

また、「道路・輸送」は、男性50代（43.0%）で4割を超え多くなっている。（表5-3-1）

表5-3-1 施策や事業の満足度の『不満（計）』上位6項目—性・年代別

男性（計）	(%)	男性20代	(%)	男性30代	(%)	男性40代	(%)
道路・輸送	35.4	市街地整備	32.6	道路・輸送	37.6	道路・輸送	38.5
市街地整備	34.8	道路・輸送	28.3	市街地整備	34.9	市街地整備	36.4
事故・防犯	23.6	公園	20.7	生活環境	26.2	事故・防犯	30.3
公園	21.5	シティセールス	20.7	中小企業	21.5	公園	25.6
中小企業	21.2	中小企業	18.5	シティセールス	21.5	中小企業	22.1
シティセールス	19.9	生活環境	16.3	子育て支援	20.8	シティセールス	19.5

男性50代	(%)	男性60代	(%)	男性70歳以上	(%)
道路・輸送	43.0	道路・輸送	34.2	市街地整備	32.9
市街地整備	38.4	市街地整備	32.9	高齢者福祉	29.5
事故・防犯	29.7	高齢者福祉	29.7	道路・輸送	27.7
中小企業	26.2	事故・防犯	22.8	バリアフリー	22.5
地域医療	24.4	公園	22.4	事故・防犯	20.2
シティセールス	24.4	中小企業	20.5	公園	20.2

女性（計）	(%)	女性20代	(%)	女性30代	(%)	女性40代	(%)
道路・輸送	33.2	市街地整備	28.7	道路・輸送	29.8	道路・輸送	35.0
市街地整備	30.1	生活環境	25.9	市街地整備	24.7	市街地整備	28.9
バリアフリー	24.6	道路・輸送	25.0	子育て支援	22.6	バリアフリー	26.3
中小企業	22.3	バリアフリー	20.4	バリアフリー	20.0	中小企業	24.1
事故・防犯	19.8	事故・防犯	20.4	生活環境	19.6	事故・防犯	23.7
高齢者福祉	19.3	中小企業	17.6	地域医療	19.1	子育て支援	20.3

女性50代	(%)	女性60代	(%)	女性70歳以上	(%)
市街地整備	37.6	道路・輸送	37.3	道路・輸送	34.0
道路・輸送	33.6	市街地整備	36.9	高齢者福祉	27.4
バリアフリー	31.0	バリアフリー	26.7	中小企業	23.7
事故・防犯	24.0	中小企業	25.4	市街地整備	22.8
中小企業	21.8	高齢者福祉	25.4	バリアフリー	20.9
高齢者福祉	21.8	公園	22.0	企業・創業	16.3

## 居住区別

居住区別でみると、「道路・輸送」「市街地整備」は、すべての区で上位2項目に入っている。

特に「道路・輸送」は、岩槻区(47.4%)、見沼区(44.3%)、桜区(41.9%)、緑区(41.5%)で4割を超えて多くなっており、「市街地整備」は、大宮区(39.5%)、見沼区(38.5%)で約4割と多くなっている。

また、「中小企業」は、岩槻区(29.5%)で3割近くと多くなっている。(表5-3-2)

表5-3-2 施策や事業の満足度の『不満(計)』上位6項目—居住区別

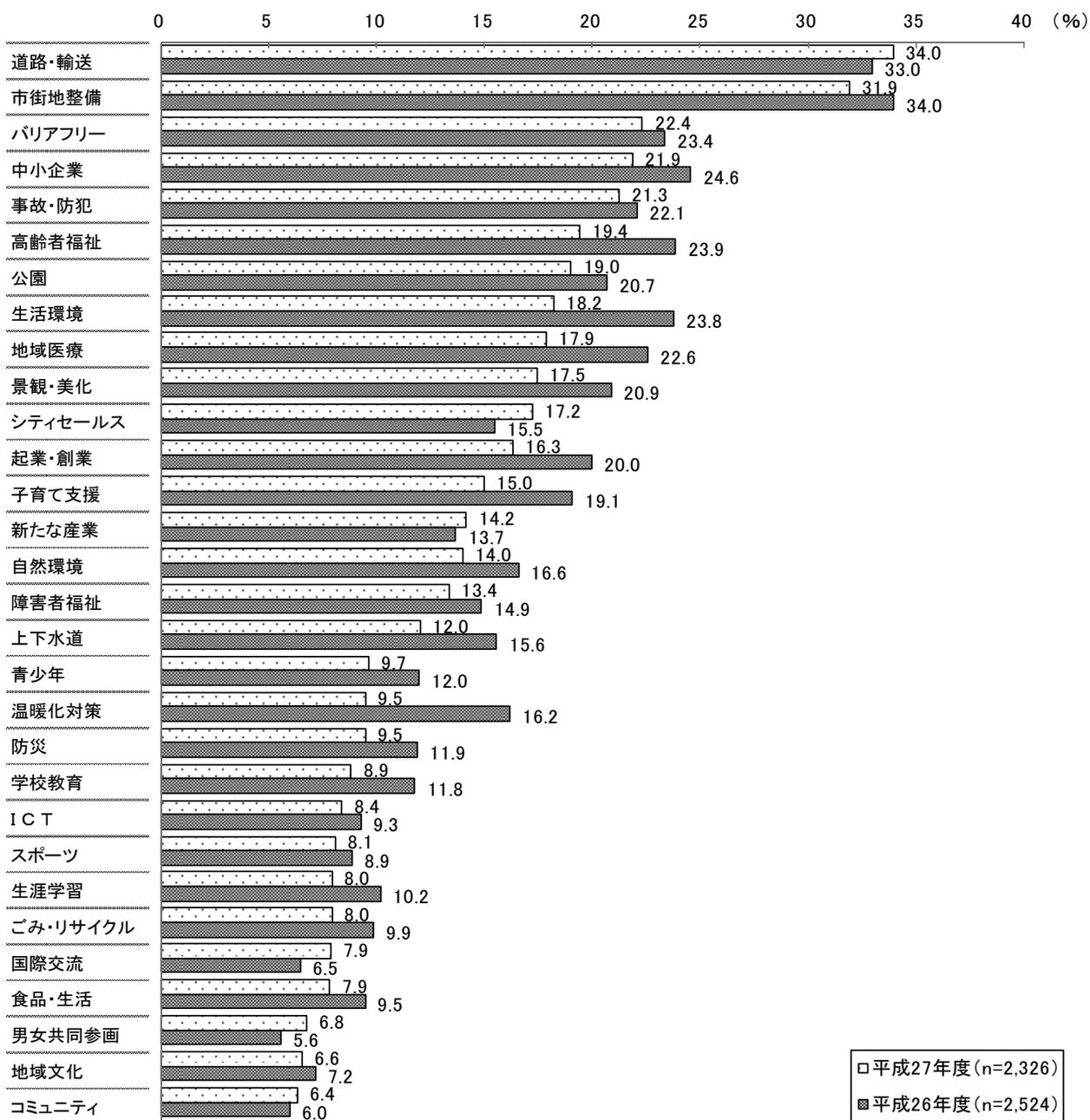
西区	(%)	北区	(%)	大宮区	(%)	見沼区	(%)	中央区	(%)
市街地整備	30.9	道路・輸送	29.0	市街地整備	39.5	道路・輸送	44.3	道路・輸送	29.5
道路・輸送	28.8	市街地整備	29.0	道路・輸送	28.7	市街地整備	38.5	市街地整備	27.4
事故・防犯	20.9	中小企業	21.2	バリアフリー	24.2	高齢者福祉	24.1	バリアフリー	23.2
中小企業	19.4	事故・防犯	21.2	生活環境	22.4	地域医療	24.1	生活環境	22.6
高齢者福祉	18.7	公園	20.1	事故・防犯	22.0	中小企業	22.3	中小企業	22.1
公園	17.3	高齢者福祉	17.8	中小企業	20.6	事故・防犯	22.0	事故・防犯	21.6

桜区	(%)	浦和区	(%)	南区	(%)	緑区	(%)	岩槻区	(%)
道路・輸送	41.9	市街地整備	28.6	市街地整備	28.0	道路・輸送	41.5	道路・輸送	47.4
市街地整備	33.1	道路・輸送	27.6	道路・輸送	27.7	市街地整備	31.3	市街地整備	36.3
中小企業	26.3	中小企業	23.5	バリアフリー	26.8	バリアフリー	26.2	中小企業	29.5
事故・防犯	26.3	バリアフリー	22.5	公園	22.0	事故・防犯	23.6	高齢者福祉	24.2
バリアフリー	21.9	公園	21.6	事故・防犯	20.4	公園	22.6	バリアフリー	22.1
起業・創業	21.3	事故・防犯	20.6	景観・美化	17.4	生活環境	20.5	公園	20.5

(4) 施策や事業の満足度の『不満(計)』対前年比較

図5-4-1 施策や事業の満足度の『不満(計)』対前年比較



全体結果

現状の満足度の『不満(計)』は、昨年の調査結果と比較して、全体的に減少傾向にある。特に「温暖化対策」「生活環境」は、それぞれ5ポイント以上減少している。

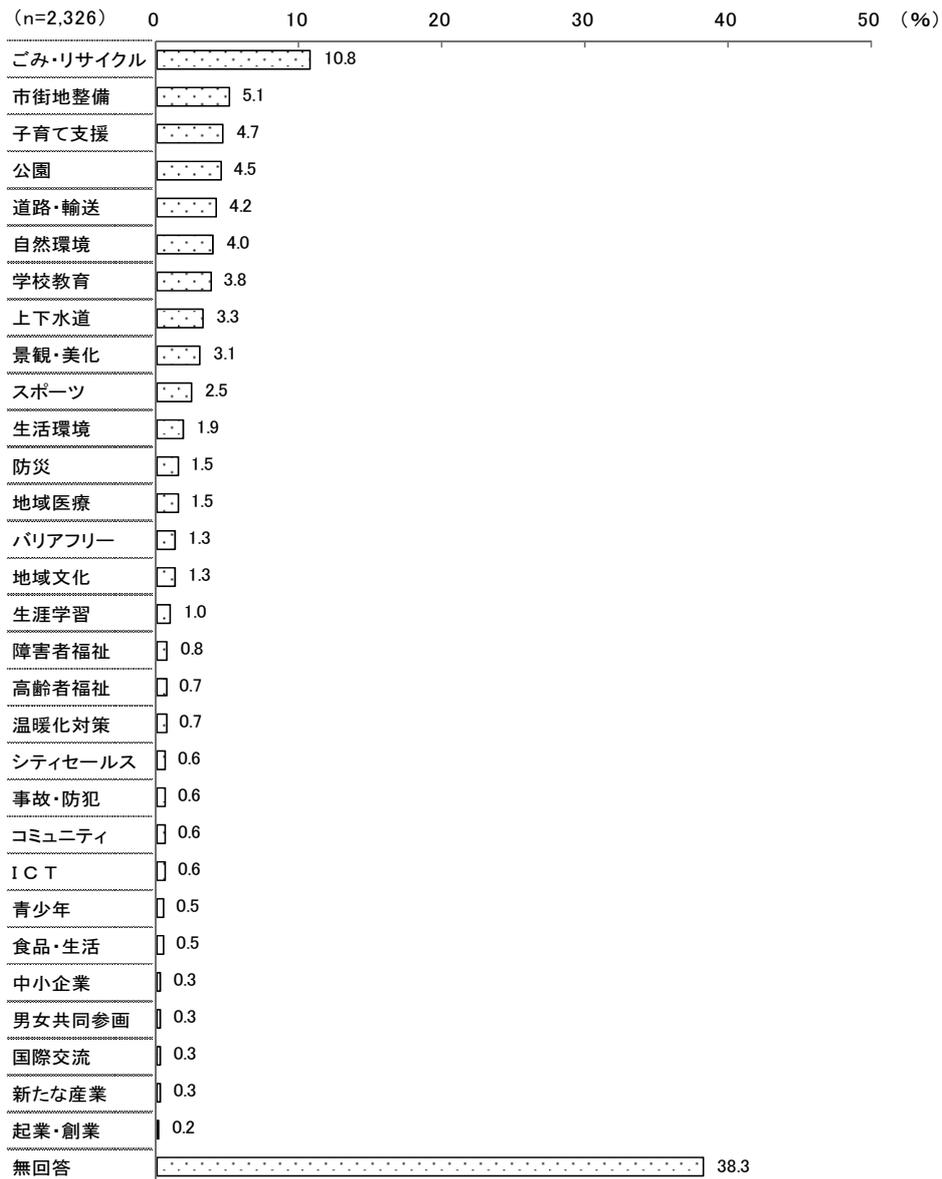
なお、『不満(計)』が目立って増加した項目はない。(図5-4-1)

(5) 施策や事業で最も満足しているもの

問 15 「さいたま市」が行っている施策や事業の満足度や重視度について質問します。

(2) 現状の満足度で「満足」または、「やや満足」を選択した中で、最も満足しているものに○をつけてください。(○は1つ)

図 5-5-1 施策や事業で最も満足しているもの



全体結果

「ごみ・リサイクル」(10.8%)が最も多くなっている。一方、無回答が38.3%と、最も満足している施策や事業がない人が、全体の4割近くとなっている。(図5-5-1)

## 属性別

性・年代別でみると、「ごみ・リサイクル」は、男女とも60代で多くなっている。また、「子育て支援」は、男性30代（11.4%）と40代（11.8%）、女性30代（11.1%）で多くなっている。

居住区別でみると、「ごみ・リサイクル」は、北区（17.0%）が2割弱と、その他の区よりも多くなっている。（表5-5-1）

表5-5-1 施策や事業で最も満足しているもの—性・年代別、居住区別（上位15項目）

	n	(%)														
		1 ごみ・リサイクル	2 市街地整備	3 子育て支援	4 公園	5 道路・輸送	6 自然環境	7 学校教育	8 上下水道	9 景観・美化	10 スポーツ	11 生活環境	12 防災	13 地域医療	14 バリアフリー	15 地域文化
全体	2,326	10.8	5.1	4.7	4.5	4.2	4.0	3.8	3.3	3.1	2.5	1.9	1.5	1.5	1.3	1.3
<性・年代別>																
男性	1,000	10.5	5.1	5.2	4.7	3.7	4.4	3.7	4.1	2.5	3.1	2.5	1.5	1.2	2.0	0.9
男性 20代	92	6.5	8.7	3.3	4.3	6.5	5.4	2.2	4.3	5.4	2.2	4.3	3.3	0.0	2.2	0.0
男性 30代	149	8.7	10.1	11.4	3.4	5.4	4.0	2.7	2.7	3.4	2.0	2.0	2.7	2.0	1.3	2.0
男性 40代	195	10.3	4.1	11.8	7.7	3.6	5.1	4.6	2.6	1.0	4.6	2.6	1.0	1.0	2.6	0.0
男性 50代	172	9.3	4.7	2.9	4.1	4.1	3.5	4.7	3.5	2.9	4.7	2.9	1.2	0.6	4.7	1.7
男性 60代	219	15.5	2.3	1.4	2.7	2.7	5.0	3.2	6.8	2.3	1.4	1.4	1.8	0.9	1.4	0.9
男性70歳以上	173	9.2	4.0	0.6	5.8	1.7	3.5	4.0	4.0	1.7	3.5	2.9	0.0	2.3	0.0	0.6
女性	1,291	11.1	5.1	4.4	4.3	4.6	3.6	4.0	2.7	3.6	2.1	1.5	1.5	1.9	0.9	1.7
女性 20代	108	8.3	11.1	6.5	2.8	12.0	8.3	2.8	3.7	3.7	2.8	4.6	0.9	1.9	1.9	0.9
女性 30代	235	8.1	7.2	11.1	4.3	6.0	3.0	5.1	1.3	5.5	1.7	1.3	1.3	3.4	0.4	1.7
女性 40代	266	7.5	3.8	6.4	4.1	6.4	4.5	6.4	1.5	3.4	2.3	2.3	1.1	1.9	1.5	1.1
女性 50代	229	12.2	3.9	2.6	6.1	3.9	1.7	4.4	2.6	3.5	3.5	0.4	1.3	1.7	1.7	1.7
女性 60代	236	16.9	5.5	0.4	4.7	2.1	5.5	1.7	4.7	3.0	0.8	0.8	2.5	0.4	0.0	3.0
女性70歳以上	215	12.6	2.3	0.0	3.3	0.9	0.9	2.3	3.3	2.8	1.9	0.9	1.4	1.9	0.0	1.4
<居住区別>																
西区	139	7.9	5.8	1.4	4.3	2.9	5.0	2.2	2.9	0.7	1.4	0.7	2.2	1.4	1.4	2.2
北区	259	17.0	4.2	6.2	3.5	3.1	1.9	2.3	1.9	2.3	5.0	1.5	0.8	1.2	1.5	0.4
大宮区	223	9.0	4.9	2.7	6.3	7.6	4.0	2.2	2.2	2.2	3.1	2.2	2.7	3.1	1.3	0.9
見沼区	291	12.0	4.1	5.8	7.2	2.7	3.8	2.4	3.1	1.7	1.7	2.4	1.4	1.7	1.4	0.7
中央区	190	5.3	4.7	4.2	6.3	4.2	2.1	3.7	3.2	5.8	2.6	1.6	1.6	1.6	0.5	2.1
桜和区	160	8.1	2.5	3.1	3.8	1.9	7.5	3.1	4.4	3.1	3.1	1.9	2.5	1.3	1.3	2.5
浦和区	315	11.4	5.1	7.0	1.3	7.0	1.3	9.2	3.2	5.4	2.2	2.5	1.0	0.6	2.5	1.9
南区	328	10.7	8.2	4.6	3.7	6.1	5.8	4.3	5.5	3.4	1.5	0.9	1.2	1.8	0.9	1.5
緑区	195	13.3	6.7	5.1	3.1	2.6	6.7	2.6	2.1	2.6	3.1	2.6	0.5	1.5	1.0	1.0
岩槻区	190	9.5	3.2	4.2	6.8	1.1	3.7	3.7	3.7	3.2	1.6	2.6	2.1	1.6	1.1	1.1

(6) 施策や事業で最も不満を感じるもの

問 15 「さいたま市」が行っている施策や事業の満足度や重視度について質問します。

(3) 現状の満足度で「不満」または、「やや不満」を選択した中で、最も不満を感じるものに○をつけてください。(○は1つ)

図5-6-1 施策や事業で最も不満を感じるもの



全体結果

「道路・輸送」(6.3%)が最も多くなっている。一方、無回答が33.5%と、最も不満を感じる施策や事業がない人が、3割を超えている。(図5-6-1)

## 属性別

性・年代別でみると、男女とも20代で「生活環境」が最も多くなっており、同様に30代では「子育て支援」、50代では「市街地整備」、70歳以上では「高齢者福祉」が最も多くなっている。

居住区別でみると、大宮区は、「市街地整備」(11.2%)が最も多くなっている。(表5-6-1)

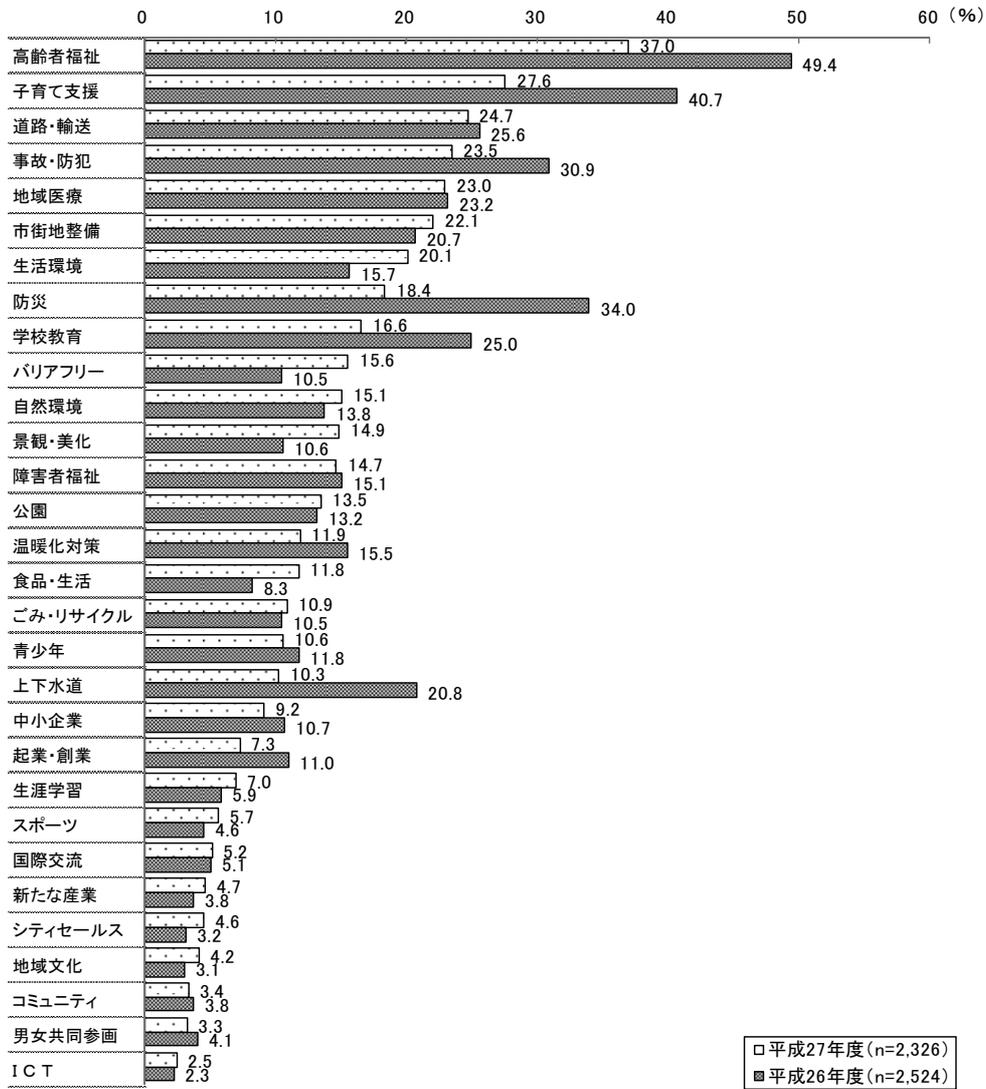
表5-6-1 施策や事業で最も不満を感じるもの—性・年代別、居住区別(上位15項目)

		(%)															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
		道路・輸送	市街地整備	高齢者福祉	生活環境	子育て支援	地域医療	事故・防犯	バリアフリー	公園	景観・美化	中小企業	自然環境	起業・創業	学校教育	障害者福祉	
n																	
全	体	2,326	6.3	5.5	4.5	4.4	3.9	3.9	3.8	3.7	2.7	2.7	2.6	2.3	1.9	1.8	1.8
<性・年代別>																	
男	性	1,000	6.2	6.6	4.8	5.0	3.3	3.3	4.9	3.3	3.3	3.5	3.4	2.6	2.1	1.9	1.4
男	性 20代	92	6.5	3.3	1.1	10.9	3.3	1.1	3.3	3.3	4.3	4.3	3.3	2.2	0.0	4.3	4.3
男	性 30代	149	8.7	4.7	1.3	8.1	9.4	3.4	6.0	5.4	1.3	5.4	5.4	2.0	1.3	1.3	0.7
男	性 40代	195	7.7	6.7	5.1	4.6	3.6	2.1	8.7	2.1	5.6	1.0	3.6	2.6	2.1	5.1	0.5
男	性 50代	172	8.7	11.0	2.9	2.9	2.3	4.7	6.4	1.7	4.1	5.8	5.2	2.9	3.5	0.0	1.2
男	性 60代	219	5.0	6.8	6.4	4.1	1.4	3.7	2.7	2.7	2.3	2.7	2.3	3.7	1.4	1.4	1.4
男	性 70歳以上	173	1.2	5.2	9.2	2.9	1.2	4.0	1.7	5.2	2.3	2.9	1.2	1.7	3.5	0.0	1.7
女	性	1,291	6.4	4.9	4.3	4.0	4.3	4.4	3.0	4.1	2.3	2.0	1.8	2.1	1.9	1.6	2.0
女	性 20代	108	4.6	3.7	1.9	13.0	3.7	1.9	5.6	5.6	3.7	1.9	3.7	4.6	3.7	3.7	0.0
女	性 30代	235	7.7	3.0	0.9	3.4	11.5	3.8	3.8	4.7	4.3	3.0	1.3	2.1	1.3	0.9	2.6
女	性 40代	266	8.6	6.4	5.3	5.3	6.0	3.4	3.8	3.8	2.3	1.9	1.5	1.9	1.1	3.4	1.9
女	性 50代	229	6.6	9.2	4.8	2.6	0.9	5.7	4.4	5.2	1.7	2.2	2.2	0.9	3.5	2.6	2.6
女	性 60代	236	5.9	3.8	5.1	2.5	1.3	8.5	0.4	3.0	1.7	2.1	1.7	2.5	1.7	0.0	2.5
女	性 70歳以上	215	3.7	2.3	7.0	1.9	1.9	1.9	1.4	3.3	0.9	0.9	1.4	1.9	0.9	0.0	1.4
<居住区別>																	
西	区	139	6.5	3.6	4.3	3.6	0.7	1.4	5.8	0.7	1.4	1.4	3.6	2.2	1.4	2.2	1.4
北	区	259	5.0	3.1	3.1	3.5	4.2	5.0	4.6	1.2	4.6	2.3	1.2	1.9	2.3	2.3	3.5
大	宮区	223	3.6	11.2	3.1	5.4	3.6	5.8	4.5	3.1	1.8	5.8	3.1	3.6	1.3	1.8	0.4
見	沼区	291	7.6	6.2	5.8	4.8	3.1	5.8	1.7	3.1	1.4	4.1	2.7	0.3	1.4	2.7	2.1
中	央区	190	5.3	4.7	3.7	4.7	2.6	2.1	4.7	2.1	2.6	0.5	2.1	1.6	2.6	1.6	0.5
桜	区	160	10.0	5.6	7.5	5.0	3.8	2.5	1.3	3.1	1.9	3.1	1.9	4.4	1.9	3.1	0.6
浦	和区	315	4.8	5.7	5.7	4.8	5.4	3.8	3.5	2.2	2.5	2.9	3.2	2.2	2.2	1.0	3.2
南	区	328	5.2	4.3	3.4	5.5	5.2	2.4	2.4	10.4	4.6	3.0	2.4	1.8	3.0	0.6	1.2
緑	区	195	8.2	3.6	5.1	3.6	4.6	6.2	8.2	4.6	2.6	1.0	1.5	2.6	1.0	1.0	0.5
岩	槻区	190	10.0	8.4	4.2	2.6	3.2	2.6	3.7	3.2	2.6	0.5	3.2	4.2	1.6	2.1	2.6

(7) 今後力を入れて欲しい施策ベスト5

問 15 「さいたま市」が行っている施策や事業の満足度や重視度について質問します。  
 (4) あなたが、今後特に力を入れて欲しいものを5つまで選んでください。(〇は5つまで)

図 5-7-1 今後力を入れて欲しい施策ベスト5



全体結果

今後力を入れて欲しい施策を5つまで聞いたところ、「高齢者福祉」(37.0%)が最も多く、次いで「子育て支援」(27.6%)、「道路・輸送」(24.7%)と続いている。

昨年度の調査結果と比較すると、「生活環境」「バリアフリー」「景観・美化」がやや増加する一方、「高齢者福祉」「子育て支援」「防災」「上下水道」が10ポイント以上減少している。(図5-7-1)

## 属性別

今後力を入れて欲しい施策の上位6項目を性・年代別でみると、男女に大きな差はみられない。「高齢者福祉」は年代があがるにつれ多くなる傾向があり、男女とも50代以上で4割以上と多くなっている。また、男女とも30代で「子育て支援」が最も多くなっており、女性（58.3%）で6割近くにもなっている。（表5-7-1、3～4）

表5-7-1 今後力を入れて欲しい施策（上位6項目）—性・年代別

男性（計）	(%)	男性20代	(%)	男性30代	(%)	男性40代	(%)
高齢者福祉	33.4	市街地整備	30.4	子育て支援	43.0	道路・輸送	29.7
道路・輸送	26.2	子育て支援	28.3	市街地整備	30.2	事故・防犯	29.7
事故・防犯	25.2	道路・輸送	27.2	道路・輸送	29.5	子育て支援	29.2
市街地整備	25.2	生活環境	26.1	事故・防犯	26.2	高齢者福祉	27.7
子育て支援	24.5	地域医療	18.5	生活環境	22.8	生活環境	23.1
地域医療	22.4	学校教育	18.5	学校教育	22.1	市街地整備	22.6

男性50代	(%)	男性60代	(%)	男性70歳以上	(%)
高齢者福祉	41.3	高齢者福祉	42.5	高齢者福祉	45.1
市街地整備	28.5	道路・輸送	25.1	地域医療	30.1
道路・輸送	26.7	地域医療	25.1	事故・防犯	26.0
事故・防犯	23.8	事故・防犯	24.7	市街地整備	23.1
自然環境	22.7	市街地整備	21.9	道路・輸送	19.7
地域医療	23.3	生活環境	21.0	自然環境	19.1
				景観・美化	19.1

女性（計）	(%)	女性20代	(%)	女性30代	(%)	女性40代	(%)
高齢者福祉	40.0	子育て支援	37.0	子育て支援	58.3	高齢者福祉	39.5
子育て支援	29.9	バリアフリー	28.7	学校教育	28.1	子育て支援	32.0
地域医療	23.6	市街地整備	25.9	道路・輸送	27.7	事故・防犯	24.8
道路・輸送	23.4	高齢者福祉	22.2	高齢者福祉	27.2	学校教育	22.9
事故・防犯	22.3	道路・輸送	22.2	事故・防犯	23.4	地域医療	21.4
市街地整備	19.9	生活環境	22.2	市街地整備	23.0	道路・輸送	21.1

女性50代	(%)	女性60代	(%)	女性70歳以上	(%)
高齢者福祉	43.7	高齢者福祉	51.3	高齢者福祉	47.4
地域医療	28.8	地域医療	27.5	道路・輸送	24.2
防災	24.0	子育て支援	23.3	地域医療	21.9
道路・輸送	22.7	事故・防犯	22.9	食品・生活	20.5
市街地整備	22.3	道路・輸送	22.5	事故・防犯	19.1
事故・防犯	21.4	防災	22.0	市街地整備	19.1
バリアフリー	21.4				

居住区別でみると、すべての区で「高齢者福祉」が3割を超え最も多くなっており、「子育て支援」「事故・防犯」も、すべての区で上位6項目に入っている。「道路・輸送」は、岩槻区(34.2%)、桜区(31.9%)で3割以上と多くなっている一方、大宮区(19.7%)、中央区(17.4%)、浦和区(16.8%)では2割を下回っている。

また、西区では「地域医療」(13.7%)が、緑区では「市街地整備」(12.8%)が、その他の区よりもニーズが少なくなっている。(表5-7-2~4)

表5-7-2 今後力を入れて欲しい施策(上位6項目)―居住区別

西区	(%)	北区	(%)	大宮区	(%)	見沼区	(%)	中央区	(%)
高齢者福祉	32.4	高齢者福祉	39.0	高齢者福祉	34.5	高齢者福祉	37.5	高齢者福祉	38.9
道路・輸送	25.9	子育て支援	31.7	子育て支援	31.4	道路・輸送	28.9	子育て支援	29.5
子育て支援	20.9	地域医療	24.7	地域医療	28.3	地域医療	23.7	事故・防犯	25.3
市街地整備	20.1	道路・輸送	23.9	市街地整備	26.9	子育て支援	23.0	地域医療	25.3
事故・防犯	18.7	市街地整備	23.2	事故・防犯	25.1	事故・防犯	21.6	生活環境	24.2
温暖化対策	18.7	事故・防犯	22.0	景観・美化	21.1	市街地整備	21.0	防災	21.6

桜区	(%)	浦和区	(%)	南区	(%)	緑区	(%)	岩槻区	(%)
高齢者福祉	39.4	高齢者福祉	39.0	高齢者福祉	36.9	高齢者福祉	30.8	高齢者福祉	40.0
道路・輸送	31.9	子育て支援	27.9	子育て支援	32.6	道路・輸送	26.7	道路・輸送	34.2
生活環境	25.6	事故・防犯	23.5	事故・防犯	25.6	事故・防犯	26.2	子育て支援	26.8
子育て支援	23.8	市街地整備	22.2	市街地整備	25.6	地域医療	25.6	地域医療	24.7
事故・防犯	22.5	防災	22.2	道路・輸送	25.3	子育て支援	22.1	市街地整備	24.7
市街地整備	21.3	地域医療	21.0	生活環境	22.9	生活環境	22.1	事故・防犯	23.2

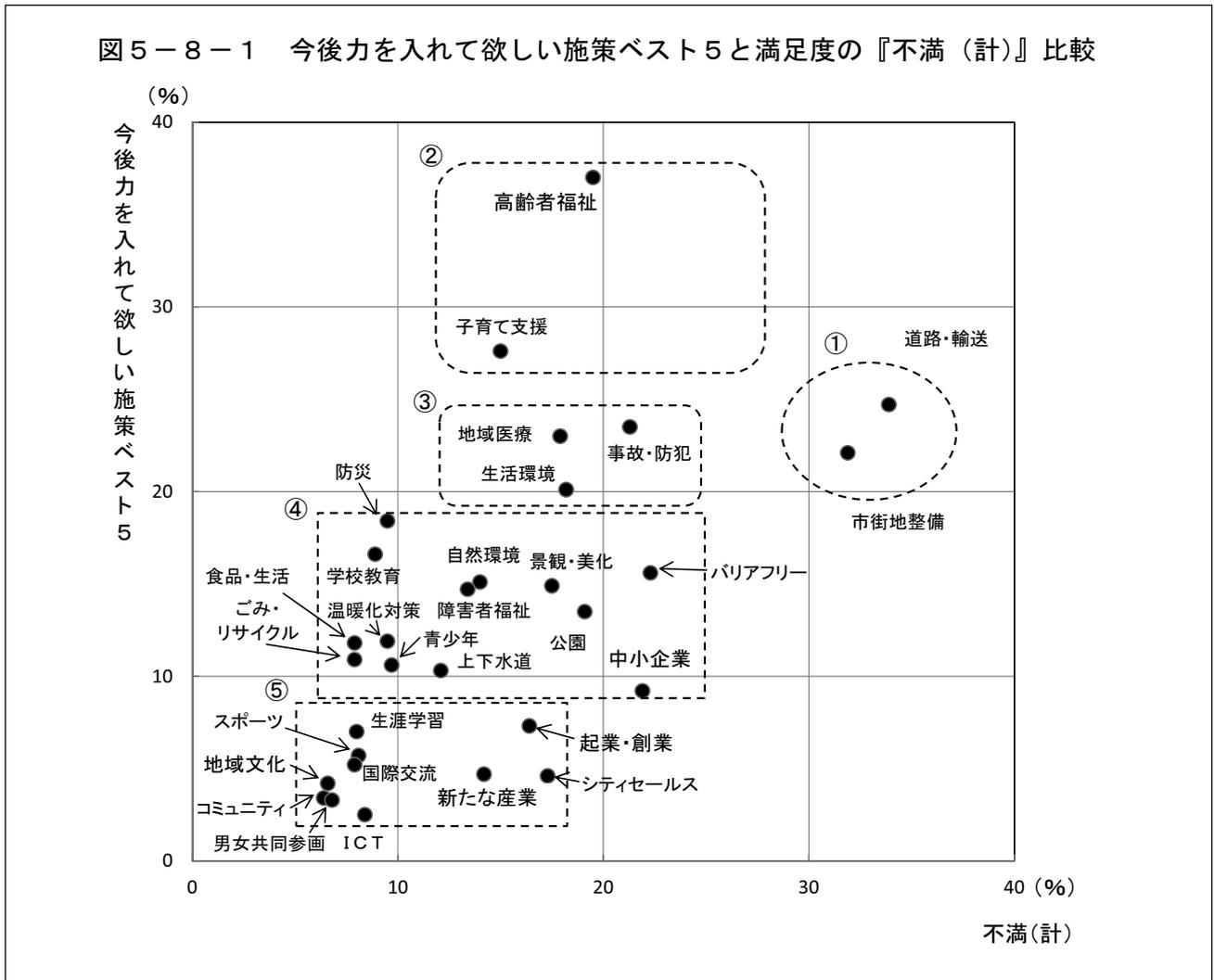
表5-7-3 今後力を入れて欲しい施策—性・年代別、居住区別（その1）

		(%)														
	n	1 高齢者福祉	2 子育て支援	3 道路・輸送	4 事故・防犯	5 地域医療	6 市街地整備	7 生活環境	8 防災	9 学校教育	10 バリアフリー	11 自然環境	12 景観・美化	13 障害者福祉	14 公園	15 温暖化対策
全 体	2,326	37.0	27.6	24.7	23.5	23.0	22.1	20.1	18.4	16.6	15.6	15.1	14.9	14.7	13.5	11.9
<性・年代別>																
男 性	1,000	33.4	24.5	26.2	25.2	22.4	25.2	21.6	17.5	15.4	11.6	17.6	18.6	13.1	15.4	10.0
男 性 20 代	92	16.3	28.3	27.2	16.3	18.5	30.4	26.1	8.7	18.5	12.0	13.0	16.3	13.0	8.7	10.9
男 性 30 代	149	15.4	43.0	29.5	26.2	19.5	30.2	22.8	19.5	22.1	8.1	13.4	19.5	7.4	13.4	8.7
男 性 40 代	195	27.7	29.2	29.7	29.7	15.9	22.6	23.1	22.1	22.6	13.3	15.9	15.9	9.2	17.9	4.6
男 性 50 代	172	41.3	18.0	26.7	23.8	23.3	28.5	19.8	16.3	11.6	15.1	22.7	22.1	15.1	19.8	8.1
男 性 60 代	219	42.5	19.6	25.1	24.7	25.1	21.0	21.9	16.9	10.5	9.1	18.7	18.3	17.4	14.6	12.8
男性70歳以上	173	45.1	13.9	19.7	26.0	30.1	23.1	17.9	17.3	9.8	12.1	19.1	19.1	15.0	14.5	15.0
女 性	1,291	40.0	29.9	23.4	22.3	23.6	19.9	19.0	19.1	17.5	18.7	13.5	12.2	16.0	12.4	13.4
女 性 20 代	108	22.2	37.0	22.2	21.3	17.6	25.9	22.2	13.0	13.9	28.7	15.7	14.8	11.1	13.9	8.3
女 性 30 代	235	27.2	58.3	27.7	23.4	21.7	23.0	19.6	20.0	28.1	20.0	13.2	14.5	14.9	14.0	9.4
女 性 40 代	266	39.5	32.0	21.1	24.8	21.4	15.4	19.5	19.2	22.9	15.8	11.3	10.2	17.3	8.6	12.4
女 性 50 代	229	43.7	17.9	22.7	21.4	28.8	22.3	18.8	24.0	11.4	21.4	13.5	12.2	13.1	13.1	17.0
女 性 60 代	236	51.3	23.3	22.5	22.9	27.5	17.8	19.5	22.0	13.1	14.4	16.9	11.4	20.8	14.8	16.1
女性70歳以上	215	47.4	13.0	24.2	19.1	21.9	19.1	15.8	12.6	12.6	17.7	11.6	11.6	16.3	11.2	14.9
<居住区別>																
西 区	139	32.4	20.9	25.9	18.7	13.7	20.1	18.0	17.3	12.9	13.7	14.4	12.2	13.7	15.1	18.7
北 区	259	39.0	31.7	23.9	22.0	24.7	23.2	18.5	17.4	18.5	14.7	17.0	13.1	17.4	15.1	10.0
大 宮 区	223	34.5	31.4	19.7	25.1	28.3	26.9	20.6	16.1	14.8	15.7	18.4	21.1	13.9	16.6	12.6
見 沼 区	291	37.5	23.0	28.9	21.6	23.7	21.0	13.7	15.1	17.2	11.7	12.4	12.4	15.8	7.6	9.6
中 央 区	190	38.9	29.5	17.4	25.3	25.3	21.1	24.2	21.6	16.3	12.1	11.6	13.2	10.5	15.3	12.6
桜 区	160	39.4	23.8	31.9	22.5	20.6	21.3	25.6	20.0	17.5	18.1	15.0	15.0	15.0	12.5	18.8
浦 和 区	315	39.0	27.9	16.8	23.5	21.0	22.2	19.0	22.2	16.8	15.2	10.8	15.2	16.5	13.0	10.8
南 区	328	36.9	32.6	25.3	25.6	21.0	25.6	22.9	17.7	16.5	21.0	19.5	18.6	14.9	15.9	12.8
緑 区	195	30.8	22.1	26.7	26.2	25.6	12.8	22.1	14.9	17.4	16.4	18.5	14.4	9.2	15.9	8.2
岩 槻 区	190	40.0	26.8	34.2	23.2	24.7	24.7	18.9	21.6	16.3	15.8	15.3	12.1	17.4	11.6	10.0

表5-7-4 今後力を入れて欲しい施策—性・年代別、居住区別（その2）

		(%)														
	n	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		食品・生活	ごみ・リサイクル	青少年	上下水道	中小企業	起業・創業	生涯学習	スポーツ	国際交流	新たな産業	シテイセールス	地域文化	コミュニティ	男女共同参画	I C T
全 体	2,326	11.8	10.9	10.6	10.3	9.2	7.3	7.0	5.7	5.2	4.7	4.6	4.2	3.4	3.3	2.5
<性・年代別>																
男 性	1,000	9.9	11.9	10.1	9.6	10.2	7.9	6.0	6.6	5.4	7.0	5.6	3.4	2.3	3.3	3.7
男 性 20 代	92	7.6	12.0	7.6	4.3	8.7	7.6	4.3	10.9	8.7	6.5	5.4	2.2	3.3	1.1	3.3
男 性 30 代	149	7.4	9.4	8.7	12.8	9.4	8.1	2.7	6.0	4.7	8.7	6.7	2.7	0.7	2.0	5.4
男 性 40 代	195	8.2	14.9	8.7	9.7	11.8	8.7	4.6	5.6	5.1	8.7	5.6	2.6	1.0	2.6	3.6
男 性 50 代	172	11.0	14.5	10.5	7.6	8.7	12.8	6.4	7.0	6.4	6.4	5.2	4.7	4.7	1.7	5.2
男 性 60 代	219	10.5	10.5	10.0	10.5	8.7	4.6	9.1	7.3	4.1	6.4	5.0	5.5	2.3	4.6	3.2
男性70歳以上	173	13.3	9.8	13.9	10.4	13.3	6.4	6.9	4.6	5.2	5.2	5.8	1.7	2.3	6.4	1.7
女 性	1,291	13.2	10.1	10.8	10.9	8.1	7.0	7.8	4.9	5.0	2.8	3.6	4.9	4.3	3.1	1.5
女 性 20 代	108	10.2	11.1	7.4	6.5	5.6	5.6	6.5	3.7	7.4	5.6	3.7	8.3	2.8	3.7	1.9
女 性 30 代	235	11.1	8.5	5.1	10.2	6.8	6.0	5.5	6.0	4.7	2.6	5.1	3.0	5.5	0.4	1.7
女 性 40 代	266	10.2	8.6	10.2	7.1	9.0	6.4	7.5	4.9	3.8	2.6	2.6	5.3	2.3	1.5	1.1
女 性 50 代	229	10.9	10.5	12.2	12.2	8.3	6.1	7.9	2.6	6.1	2.2	2.6	3.9	2.6	4.8	1.3
女 性 60 代	236	15.7	13.6	13.6	14.4	7.6	8.5	10.6	7.6	4.7	3.0	2.5	5.9	6.4	5.5	1.3
女性70歳以上	215	20.5	9.3	14.9	13.5	10.2	8.8	8.4	3.7	4.7	2.3	5.6	4.7	5.6	3.3	2.3
<居住区別>																
西 区	139	12.9	16.5	10.8	11.5	8.6	10.1	13.7	7.2	5.8	1.4	5.0	5.0	3.6	2.2	0.7
北 区	259	10.0	7.7	10.0	13.1	7.7	8.1	8.1	6.2	6.2	3.9	5.4	2.7	3.5	3.1	3.9
大 宮 区	223	9.4	14.8	8.5	8.1	9.4	8.1	6.7	5.8	4.0	6.3	6.7	4.0	4.0	3.6	0.4
見 沼 区	291	12.7	8.6	9.6	11.3	10.0	7.9	6.5	4.5	4.1	4.8	3.8	3.4	4.5	2.4	2.7
中 央 区	190	12.1	11.6	12.1	10.0	6.3	4.7	5.8	6.3	5.3	6.8	4.2	5.3	4.2	2.6	4.2
桜 区	160	13.1	10.6	10.6	7.5	6.9	9.4	3.1	5.0	4.4	5.0	3.1	5.0	3.1	5.0	3.8
浦 和 区	315	11.4	9.2	10.5	8.9	10.8	6.0	7.6	5.7	6.0	5.4	4.4	4.4	4.4	3.5	2.2
南 区	328	14.0	11.9	11.0	9.1	8.5	8.5	7.3	4.6	5.8	5.2	4.9	3.7	1.5	3.7	2.1
緑 区	195	7.7	8.2	10.8	11.3	7.2	4.6	6.2	7.2	2.6	2.1	2.1	4.1	2.6	2.6	2.1
岩 槻 区	190	13.2	13.7	11.6	12.6	13.7	6.3	5.8	5.3	6.8	3.7	4.7	6.3	2.6	3.2	2.6

(8) 今後力を入れて欲しい施策ベスト5と満足度の『不満(計)』比較



全体結果

現状の満足度の『不満(計)』と今後力を入れてほしい(重視する)施策ベスト5の関係を見ると、以下のような5グループに分かれている。

- ① 『不満(計)』が多く、今後の重視度では中位の「道路・輸送」「市街地整備」
- ② 『不満(計)』は中位であるが、今後の重視度が高い「高齢者福祉」「子育て支援」
- ③ 『不満(計)』と、今後の重視度が中位の「事故・防犯」「地域医療」「生活環境」
- ④ 『不満(計)』が中位で、今後の重視度が低い「バリアフリー」「自然環境」「景観・美化」など
- ⑤ 『不満(計)』が少なく、今後の重視度が極めて低い「男女共同参画」「コミュニティ」など

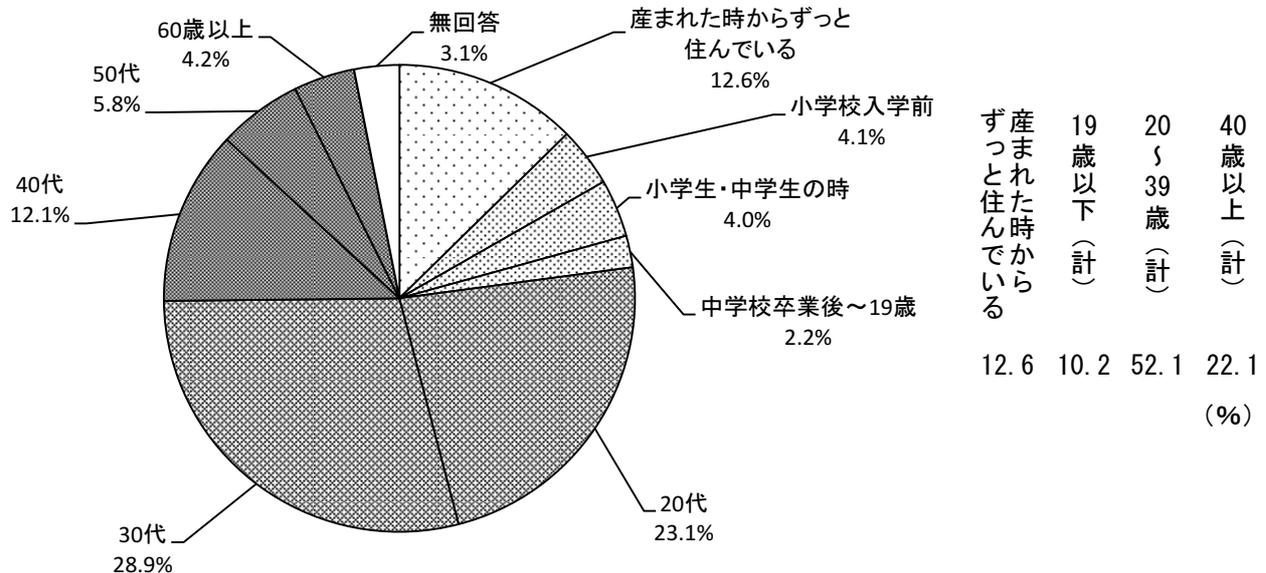
(図5-8-1)

## 6. 今の地域を選んだ理由

### (1) 住み始めた年齢

問 16 今の地域に住み始めたのは、あなたがいくつの時ですか。(○は1つ)

図 6-1-1 住み始めた年齢 (n=2,326)



(注記) 『19歳以下 (計)』は、「小学校入学前」「小学生・中学生の時」「中学校卒業後～19歳」の合計  
 『20～39歳 (計)』は、「20代」「30代」の合計  
 『40歳以上 (計)』は、「40代」「50代」「60歳以上」の合計

### 全体結果

今の地域に「産まれた時からずっと住んでいる」(12.6%)は、全体の約1割にとどまっている。一方、『20～39歳 (計)』の頃に住み始めた人が52.1%と、全体の半数以上を占めている。

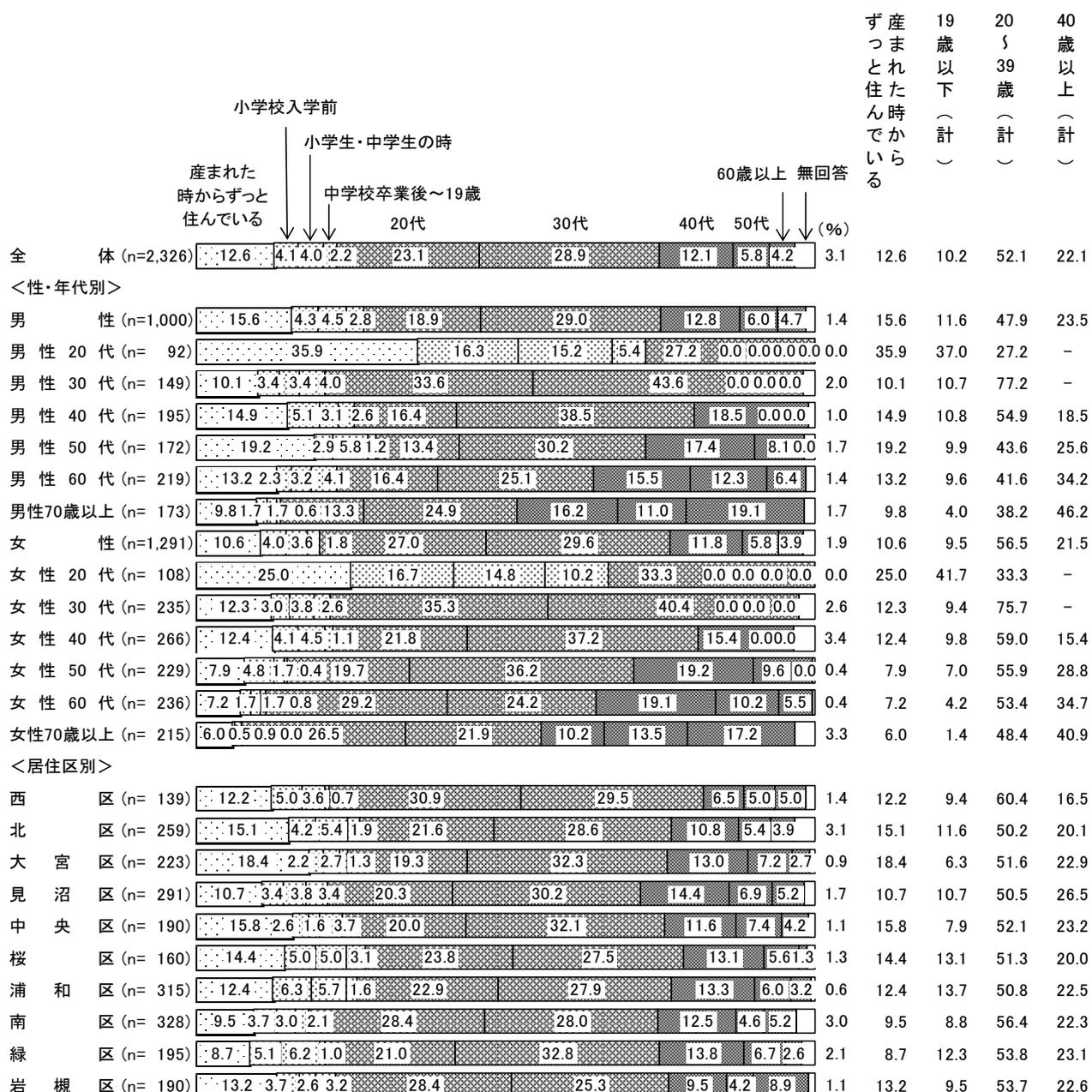
(図 6-1-1)

# 属性別

性・年代別でみると、「産まれた時からずっと住んでいる」は、男性（15.6%）の方が女性（10.6%）よりもやや多くなっている。一方で、『20～39歳（計）』は、女性（56.5%）の方が男性（47.9%）よりもやや多くなっており、特に「20代」での転入割合に差が出ている。

居住区別でみると、「産まれた時からずっと住んでいる」は、大宮区（18.4%）が約2割、『20～39歳（計）』は、西区（60.4%）が約6割と、その他の区よりもやや多くなっている。（図6-1-2）

図6-1-2 住み始めた年齢-性・年代別、居住区別

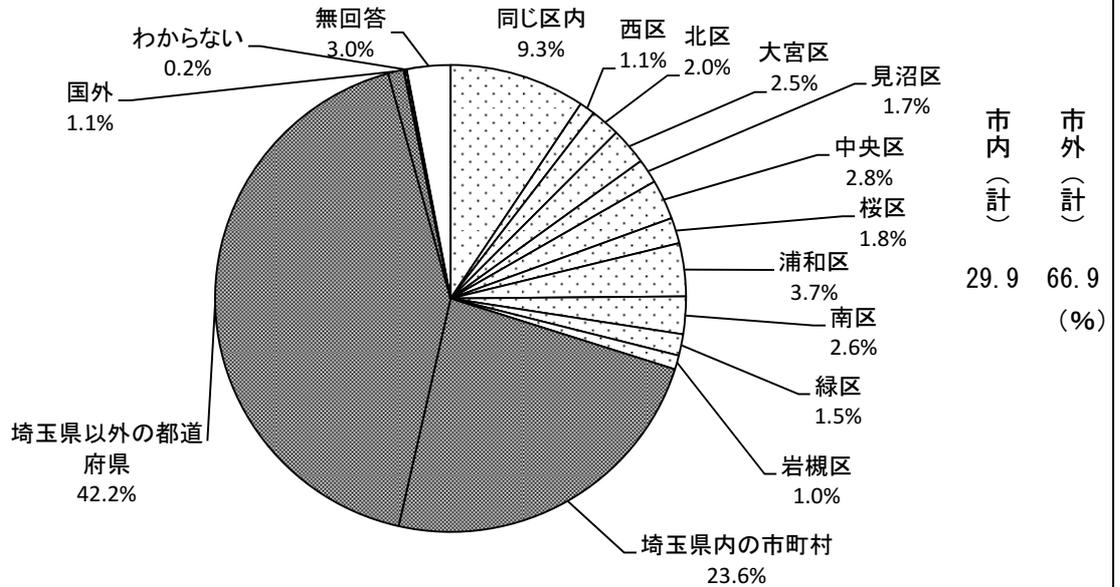


(2) 以前住んでいた地域

(問 16 で、「小学校入学前」～「60 歳以上」の時に住み始めたと答えた方に)

問 16-1 どこから、今の地域に引っ越してきましたか。(○は1つ)

図 6-2-1 以前住んでいた地域 (n=1,962)



(注記) 『市内 (計)』は、「同じ区内」「西区」「北区」「大宮区」「見沼区」「中央区」「桜区」「浦和区」「南区」「緑区」「岩槻区」の合計  
『市外 (計)』は、「埼玉県内の市町村」「埼玉県以外の都道府県」「国外」の合計

全体結果

『市外 (計)』(66.9%) が約 7 割を占めている。(図 6-2-1)

## 属性別

今の地域に住み始めた年齢別で見ると、『市外（計）』からの転入は、「小学生・中学生」（78.3%）、  
「30代」（71.0%）、「20代」（70.4%）で7割に達している。一方で、『市内（計）』間の転居は、50  
代（48.9%）で、約半数を占めている。

居住区別で見ると、『市外（計）』からの転入は、南区（76.7%）、北区（73.1%）でやや多くなって  
いる。一方、『市内（計）』間の転居は、見沼区（40.0%）が4割と多くなっている。（表6-2-1）

表6-2-1 以前住んでいた地域－性別、今の地域に住み始めた年齢別、居住区別

	n	(%)														市内 (計)	市外 (計)
		同じ区内	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	埼玉県内の市町村	埼玉県以外の都道府県	国外		
全体	1,962	9.3	1.1	2.0	2.5	1.7	2.8	1.8	3.7	2.6	1.5	1.0	23.6	42.2	1.1	29.9	66.9
<性別>																	
男性	830	9.3	1.1	1.9	1.9	1.8	2.9	2.0	4.0	1.9	1.4	0.7	24.2	43.0	0.8	29.0	68.1
女性	1,129	9.4	1.1	2.1	3.0	1.6	2.7	1.6	3.5	3.1	1.5	1.2	23.3	41.5	1.2	30.6	66.1
<今の地域に住み始めた年齢別>																	
小学校入学前	95	8.4	1.1	1.1	2.1	4.2	4.2	2.1	4.2	2.1	1.1	0.0	24.2	35.8	1.1	30.5	61.1
小学生・中学生の時	92	10.9	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	2.2	2.2	1.1	0.0	31.5	45.7	1.1	19.6	78.3
中学校卒業後～19歳	51	7.8	2.0	3.9	2.0	0.0	5.9	2.0	5.9	2.0	3.9	0.0	9.8	51.0	2.0	35.3	62.7
20代	538	8.4	1.1	1.7	1.3	1.7	3.0	1.5	2.4	2.0	1.3	1.1	25.7	44.1	0.7	25.5	70.4
30代	673	6.7	1.5	1.8	2.8	1.6	2.5	1.6	4.0	1.8	1.6	1.0	24.1	45.3	1.6	27.0	71.0
40代	281	15.3	0.4	2.5	1.4	1.1	3.2	0.4	4.6	3.9	1.4	1.1	19.9	42.0	1.1	35.2	63.0
50代	135	13.3	0.7	5.2	6.7	2.2	2.2	3.7	4.4	7.4	2.2	0.7	21.5	26.7	0.0	48.9	48.1
60歳以上	97	10.3	1.0	2.1	6.2	3.1	2.1	6.2	4.1	2.1	0.0	2.1	22.7	30.9	0.0	39.2	53.6
<居住区別>																	
西区	120	9.2	-	4.2	6.7	4.2	0.8	0.0	5.8	3.3	0.0	0.0	28.3	30.0	0.8	34.2	59.2
北区	212	9.9	1.9	-	4.2	2.4	0.9	1.4	2.4	0.9	0.5	0.0	24.1	48.6	0.5	24.5	73.1
大宮区	180	12.8	2.8	3.3	-	2.2	1.1	1.1	3.3	1.1	1.1	1.7	18.9	45.0	2.2	30.6	66.1
見沼区	255	9.4	2.0	5.9	5.1	-	3.1	0.4	6.7	2.0	2.0	3.5	20.4	35.7	1.2	40.0	57.3
中央区	158	7.0	1.3	0.6	3.2	0.0	-	3.8	8.9	2.5	1.3	0.0	17.7	48.1	3.2	28.5	69.0
桜区	135	8.9	0.7	0.7	1.5	0.7	10.4	-	1.5	3.0	0.0	0.7	17.0	50.4	0.7	28.1	68.1
浦和区	274	7.3	0.4	1.5	2.6	2.9	5.1	2.9	-	4.0	4.4	0.4	23.0	41.6	0.7	31.4	65.3
南区	287	7.7	0.7	1.0	0.3	0.3	2.4	2.8	3.1	-	1.7	0.7	25.1	50.2	1.4	20.9	76.7
緑区	174	7.5	0.6	0.6	0.6	1.7	1.7	1.7	4.0	9.8	-	1.7	32.2	35.6	0.0	29.9	67.8
岩槻区	163	16.0	0.0	2.5	2.5	3.7	1.8	2.5	3.1	1.2	0.6	-	31.3	31.3	0.0	33.7	62.6

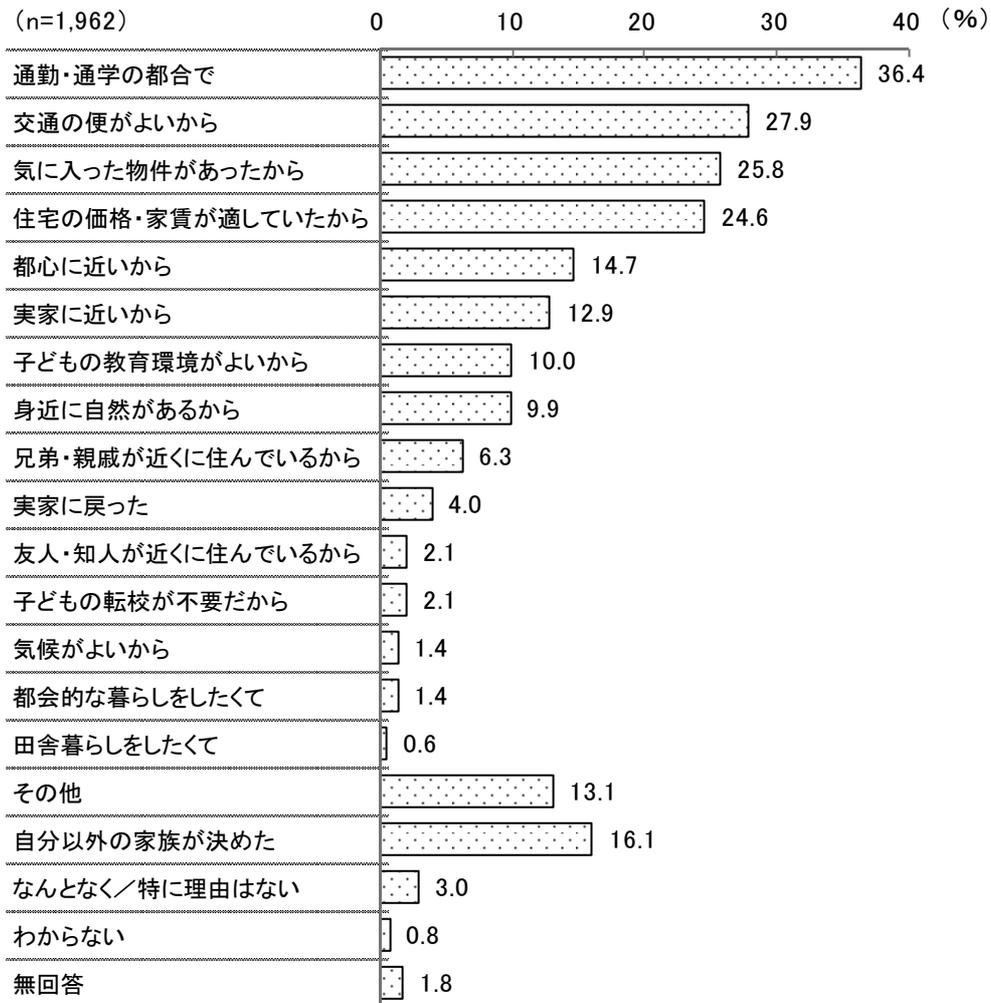
(3) 今の地域を選んだ理由

(問16で、「小学校入学前」～「60歳以上」の時に住み始めたと答えた方に)

問16-2 今の地域を選んだ大きな理由は何ですか。以下の中からいくつでも選んでください。

(○はいくつでも)

図6-3-1 今の地域を選んだ理由



全体結果

「通勤・通学の都合で」(36.4%)が最も多く、次いで「交通の便がよいから」(27.9%)、「気に入った物件があったから」(25.8%)、「住宅の価格・家賃が適していたから」(24.6%)と続いている。(図6-3-1)

## 属性別

上位 10 項目について、性別でみると、上位 5 項目は、男性の方が女性よりも多くなっている。

今の地域に住み始めた年齢別でみると、「交通の便がよいから」「気に入った物件があったから」は 50 代をピークに、「住宅の価格・家賃が適していたから」は 30 代をピークに多くなっている。

以前住んでいた地域別でみると、「通勤・通学の都合で」は、『市外（計）』（39.1%）で、「気に入った物件があったから」は、『市内（計）』（34.8%）で、それぞれ多くなっている。

居住区別でみると、岩槻区では、「住宅の価格・家賃が適していたから」（27.6%）が約 3 割で、最も多くなっている。（表 6-3-1）

表 6-3-1 今の地域を選んだ理由—性別、今の地域に住み始めた年齢別、以前住んでいた地域別、居住区別（上位 10 項目）

	n	で通 勤・ 通学 の都 合	ら交 通の 便が よい か	あ っ た 入 っ た 物 件 が	が住 宅の 価 格 た・ 家賃	都 心 に 近 い か ら	実 家 に 近 い か ら	が子 ども の教 育環 境	か身 近に 自然 があ る	に兄 弟・ 親戚 が近 く	実 家 に 戻 っ た
全 体	1,962	36.4	27.9	25.8	24.6	14.7	12.9	10.0	9.9	6.3	4.0
性 別											
男	830	41.6	29.3	26.1	25.2	17.2	12.2	9.8	10.4	6.0	3.1
女	1,129	32.8	26.9	25.6	24.2	12.8	13.4	10.3	9.7	6.5	4.6
今の地域に住み始めた年齢別											
小学校入学前	95	9.5	10.5	6.3	8.4	5.3	5.3	5.3	4.2	4.2	4.2
小学生・中学生の時	92	18.5	16.3	7.6	8.7	10.9	8.7	8.7	8.7	5.4	6.5
中学校卒業後～19歳	51	29.4	19.6	11.8	19.6	7.8	3.9	3.9	3.9	3.9	9.8
20代	538	40.0	22.1	19.7	22.1	12.3	13.4	9.3	8.9	6.7	2.6
30代	673	39.7	33.9	31.1	30.5	17.5	17.5	13.2	10.8	5.1	4.5
40代	281	43.1	32.7	33.1	28.8	18.5	13.2	13.2	9.3	6.8	5.0
50代	135	41.5	36.3	37.8	23.0	14.1	5.9	2.2	14.1	6.7	3.7
60歳以上	97	15.5	24.7	28.9	21.6	14.4	3.1	3.1	15.5	14.4	0.0
以前住んでいた地域別											
市内（計）	587	33.2	27.9	34.8	25.6	9.4	14.7	9.4	12.4	6.5	3.4
市 区	183	32.8	25.1	31.1	24.6	7.1	15.8	10.9	10.4	7.1	1.1
西 区	21	38.1	28.6	19.0	23.8	19.0	14.3	4.8	0.0	9.5	4.8
北 区	40	25.0	30.0	35.0	22.5	10.0	25.0	7.5	12.5	2.5	5.0
大 宮 区	50	28.0	22.0	30.0	22.0	4.0	16.0	8.0	20.0	10.0	2.0
見 沼 区	33	33.3	27.3	33.3	21.2	9.1	6.1	9.1	9.1	12.1	9.1
中 央 区	54	33.3	24.1	35.2	29.6	7.4	24.1	16.7	13.0	7.4	0.0
桜 和 区	35	31.4	40.0	34.3	31.4	14.3	17.1	14.3	17.1	5.7	5.7
浦 南 区	72	36.1	29.2	52.8	30.6	8.3	9.7	2.8	13.9	2.8	4.2
南 緑 区	51	37.3	27.5	33.3	21.6	13.7	7.8	9.8	15.7	3.9	5.9
岩 槻 区	29	34.5	41.4	27.6	27.6	13.8	10.3	10.3	10.3	3.4	6.9
市 外（計）	1,313	39.1	28.6	22.5	24.9	17.4	12.6	10.8	9.0	6.4	4.4
埼玉県内の市町村	464	38.4	32.3	28.0	26.9	15.9	13.1	10.6	11.6	5.8	5.0
埼玉県以外の都道府県	828	39.3	26.3	19.7	23.8	18.1	12.4	10.9	7.5	6.8	3.9
国 外	21	47.6	33.3	14.3	23.8	23.8	4.8	14.3	9.5	4.8	14.3
居住区別											
西 区	120	27.5	15.8	32.5	25.0	8.3	10.0	3.3	16.7	5.0	1.7
北 区	212	47.2	33.5	29.2	25.5	15.1	13.2	7.5	6.1	5.2	2.4
大 宮 区	180	46.1	41.1	28.3	20.6	17.2	12.2	6.7	7.8	6.7	5.0
見 沼 区	255	28.2	20.0	25.9	31.4	10.2	9.4	5.1	14.1	7.1	2.7
中 央 区	158	39.9	35.4	32.9	27.2	17.1	12.7	8.2	9.5	5.1	6.3
桜 和 区	135	37.8	17.0	18.5	30.4	15.6	12.6	6.7	8.1	7.4	3.0
浦 南 区	274	36.1	35.4	20.4	12.8	17.2	12.0	24.1	4.7	6.9	5.8
南 緑 区	287	44.3	36.2	28.2	24.7	23.0	19.5	12.9	6.3	5.6	2.1
岩 槻 区	174	31.6	20.1	28.2	26.4	11.5	13.2	10.3	21.8	5.2	4.0
岩 槻 区	163	19.0	9.8	15.3	27.6	4.3	10.4	5.5	10.4	8.6	7.4